

## ブリュッセル、パリ連続テロの調査に関する米国の援助を拒否

(スポーツニク 2016年03月24日 18:30)

© AFP 2016/ Emmanuel Dunand <http://bit.ly/1T5QWq8>

ワシントンは昨年11月パリで起きたテロ事件の調査についてブリュッセルに協力を申し出たが、拒否された。米国のテロ対策当局の高官の言葉を西側メディアが報じた。

米政府当局者が会談をセッティングしようとしたが、ベルギー側は協力しなかったという。ベルギー側は、当時は調査に追われており、外国チームと完全な協力を行なう余地がなかった、としている。

ベルギー首都ブリュッセルで21人が死亡、300人が負傷したテロが行なわれる4日前、11月のパリ連続テロの主犯サラフ・アブデスラムが逮捕された。ベルギーのレインデルス外相によれば、この人物はさらなるテロを計画していた。

13日金曜、パリでは連続テロ事件が発生。10区にあるレストランで不審者がいきなり発砲し、サッカーの独仏戦が行われ、オランダ仏大統領も観戦していた「スタド・デ・フランス」スタジアムのすぐそばで三度の爆発が発生したほか、11区のバタ克蘭劇場のコンサート会場ではテロリストらが人質を取って立てこもった。

テロでは130人が死亡、さらに300人が負傷している。一連のテロについて「イスラム国(I S)」(ロシアでは活動を禁止されている)が犯行声明を出している。

<http://bit.ly/21JJX6k>

## テロリストらはベルギーの原子力発電所でのテロを計画していた

(スポーツニク 2016年03月24日 19:24)

© AFP 2016/ Kenzo Tribouillard <http://bit.ly/22yZziZ>

ブリュッセルで爆弾テロを行なった犯人らはベルギーの原子力発電所でのテロを計画していた。しかしパリ連続テロの主犯とされるサラフ・アブデスラムが拘束された後、計画を断念したという。

ブリュッセル連続テロ犯の主な目的はベルギーの原子力発電所2箇所であったが、パリ連続テロの犯人らが逮捕されたことでテロの実行を急ぎ、標的を地下鉄や空港に変更した。デルニエレ・ホイレ紙が報じた。

同紙によると、ブリュッセル連続テロの実行犯、ブラヒムおよびハリドのアル・バクラウイ兄弟は、ベルギーの原子力当局長官の家の前に隠しカメラを設置していた。その映像は2015年12月の

警察による捜査で、パリ連続テロ容疑者のアパートで発見されていた。ベルギーではこれを受け、セキュリティ強化のため、原子力発電所に兵員が配備された。

<http://bit.ly/1MoFwfI>

### **モスクワでラブロフ・ケリー会談始まる**

(スプートニク 2016年03月24日 18:47)

© Sputnik/ Ministry of Foreign Affairs of the Russian Federation <http://bit.ly/1VeffEI>

モスクワでロシアのセルゲイ・ラヴロフ外務大臣と米国のジョン・ケリー国務長官の会談が始まった。インターファクスが報じた。ラヴロフ氏は、ウクライナ危機解決のための国際社会の取り組みを協議する予定だ、と述べた。「国際社会がウクライナ紛争の解決にどのように貢献できるかについて話す」と外相。会談の結果はプーチン大統領に報告されるという。先にロシア外務省は、ケリー長官のモスクワ訪問のメインテーマはシリアである、としていた。

<http://bit.ly/1WMNSyh>

### **イラク軍、モスルで攻撃開始**

(スプートニク 2016年03月24日 19:04)

© AP Photo/ <http://bit.ly/1MFnAbn>

イラク軍は、テロ組織「ダーイシュ（I S、イスラム国）」に占拠されたモスル市近郊で攻撃を開始した。24日、AP通信が報じた。イラク軍はこれまでテロリストらに占拠されていたモスル近郊の複数の居住区の解放に成功している。モスル解放作戦については3月初めに開始が宣言されていた。モスルはイラク第2の大都市で2014年6月から「ダーイシュ」によって占拠されている。

<http://bit.ly/1RA1zyq>

### **アノニマス、ベルギー連続テロにつきダーイシュ（IS）に復讐誓う**

(スプートニク 2016年03月24日 20:25)

© Flickr/ Thomas Hawk <http://bit.ly/1NCFATo>

国際ハッカー組織アノニマスは、YouTubeに動画を掲載、ダーイシュ（I S、イスラム国）に対し、ベルギー連続テロの犠牲者のために復讐することを誓った。

「自由が再び脅威にさらされている。こんなことは長続きしない。パリのテロ事件以来、我々はテロと戦っている。我々はダーイシュのサイトにつながる千をこえるリンクへのアクセスを閉じた。テロリストが存在する限り、我々はそのソーシャルネットワークアカウントを閉鎖し、そのビットコインを盗み続ける。ダーイシュの賛同者らに告ぐ。我々は、どこであろうと見つけだし、見逃さない。我々は想像を絶する大軍である。恐怖せよ。」

22日、ブリュッセルでは国際空港の出発ロビーで二度の爆発が発生。続いて地下鉄でさらに二度の爆発が起こった。現在の情報では、空港と地下鉄で発生した爆発による死者は30人、負傷者は合わせて200人以上だと公式発表した。テロ組織ダーイシュが犯行声明を出している。

動画 <http://bit.ly/1PuhZoj>

<http://bit.ly/1ULK1Ck>

### シリア軍と義勇軍、パルミラの通りでダーイシュとの戦闘を展開

(スポーツニク 2016年03月24日 21:31)

© Flickr/ Gusjer <http://bit.ly/1Gy2JUv>

義勇軍「砂漠の鷹」がパルミラの東部でダーイシュ（IS、イスラム国）との戦闘を繰り広げている。リア-ノーヴォスチが現地から伝えた。シリア軍と義勇軍はパルミラ周辺の戦略的に重要な高所を全て掌握した。攻撃は砂嵐のため困難を極めている。「テロリストたちは市中の庭などに逃げ込み、我々は高所から彼らを追跡している。眼下の街ではすでに複数の部隊が攻撃を開始している。夜にはテロリストの戦闘員たちが複数台の車でラッカ方面に逃げ去った」と義勇軍のマジード部隊長がリア-ノーヴォスチに語った。

<http://bit.ly/1q4ZbY0>

### 千島連盟の代表者らスポーツニクを訪問「ロシア人と一緒に暮らした記憶、とても大事」

(スポーツニク 2016年03月24日 22:07 徳山あすか)

© Sputnik/ Sergey Krivosheev <http://bit.ly/1UovQER>

24日、公益社団法人・千島歯舞諸島居住者連盟の脇紀美夫（わき・きみお）理事長と児玉泰子（こだま・たいこ）理事がモスクワのスポーツニクオフィスを訪問。スポーツニク日本語編集部のアンドレイ・イワノフ編集長と懇談した。前羅臼町長の脇氏は1941年国後島生まれ。戦後3年間、4歳から7歳までロシア人とともに暮らした。ロシア人の子どもと仲良く遊んだ記憶は今も鮮明だ。島がソ連に占領された後、日本本土への強制送還が段階的に行われた。脇氏は最後の引揚者にあたる。現在は国後島から約25キロの場所に住み、茶の間から国後島を眺めては望郷の念にかられていると

いう。

**脇氏**：「北方領土の返還交渉は国と国との政治的な話で、私たちに交渉権はありませんが、元島民の立場として、故郷に帰りたい思いを伝えたくてモスクワへ来ました。戦後70年以上が経ち、存命の元島民は既に7000人を切り、平均年齢80歳を超えています。一日も早くこの問題が解決してほしいと願っています。元島民の願いは自分たちの島に帰りたいというただ一点です。私たちの組織は四島返還を目標にして訴え続けています。しかし交渉の末、政治決着で結果が出るならば、その結果を理解する覚悟でいます。」

東京在住の児玉氏は、歯舞群島・志発島（ゼリョーヌイ島）の出身だ。児玉氏にもやはりロシア人と一緒に暮らした経験がある。あるソ連兵は、幼い日の児玉氏のことをとても可愛がり、児玉氏の一家が送還される時、浜辺に立って見送ってくれた。児玉氏は、元島民7000人が少しでも減らないうちに、領土問題を解決し、ロシア人と一緒に暮らしたいという。

**児玉氏**：「故郷に帰れず、本当に悔しい思いをしながら亡くなっていった仲間が多くいます。みな、ロシアが憎いとか、ソビエトが憎いなどとは思っていません。ロシア人と一緒に暮らしたときの記憶はとても大事です。私たちは年をとり過ぎました。私たちにあるのは、故郷へ帰りたいという気持ち、もどかしさだけなのです。」

ビザなし訪問を通して、日本人の元島民と、ロシア人の現島民の交流は深化しており、島民同士の信頼関係は長い時間をかけて醸成されてきた。児玉氏は、ビザなし訪問に尽力したロシア人が亡くなったという知らせを受けても葬式に行けず、結婚式に招待されてもお祝いに行けない不自由な状態を口惜しく思う一方で、「領土問題が解決していない状態でこのような交流をしているのは他国間ではあり得ないことでしょう。これは日露の智恵、勇気、信頼関係の表われだと思えます」と評価する。

スポーツニク日本のイワノフ編集長は、「両国民の信頼関係醸成のために尽力してきた千島連盟の皆さんの仕事は非常に大事なものです。ロシアの政治家も領土問題を解決したいという気持ちはありますが、難しいのは、領土問題は二国間だけの問題ではないということです。ロシアには、もしロシアが日本に領土を引き渡すとなれば、そこにアメリカが軍事基地などを設置しようとするのではないかという危惧があります。これは問題解決の大きな障害です」と述べた。脇氏も、二国間だけの問題ではないということに賛同を示した。

今年は日露間の要人往来が活発に続く。脇氏は「今までは節目々々で、領土問題が解決するのではないかという期待が、期待だけに終わってしまったという繰り返しでした。今年は安倍総理の5月のロシア訪問、年内のプーチン大統領訪日があるだろうと聞いていますから、やはり問題解決の期待をしたいと思います」と話した。

<http://bit.ly/1MFoSTV>

## 不安定な石油市場によりロシア経済の石油・ガス依存度が低下する

(スプートニク 2016年03月24日 22:51)

© AP Photo/ Richard Drew <http://bit.ly/22jhWbv>

ロシアの予算における石油・ガス収入のシェアは、6年半で最も低い水準になった。価格暴落の「恩恵」だ。

2016年1月～2月、総収入に占める石油・ガス収入のシェアは37.4ポイント。2009年8月以来最低だ。

政府は定期的に石油・ガス依存脱却を主張してきたが、原油下落ではからずもそれが進むことになった。

昨年の石油・ガス収入は総収入の43%を占めた。しかし、専門家らによれば、この先数年も低原油価格が続くため、2016年には石油・ガス収入のシェアが2015年に比べてはるかに低くなるだろうと述べている。

「以前は予算の70%が石油・ガス収入の輸出収入、それが今は45%。石油・ガスがなくても自身を養うことができるということだ。この状況を利用しなければならない」。メドベージェフ首相は2月5日にこう呼びかけている。

<http://bit.ly/1pASvQT>

## シリア義勇軍、パルミラ攻防でダーイシュを後退させる

(スプートニク 2016年03月24日 23:16)

写真 1/2 <http://bit.ly/22JoBIL>

シリア軍の司令を受けて行動している義勇軍「砂漠の鷹」がパルミラの東部でホテルを掌握した。リア-ノーヴォスチが現地から伝えた。

シリア軍と義勇軍はパルミラ周辺の戦略的に重要な高所を全て掌握し、攻撃をかけた。「砂漠の鷹」は政府軍の管理下にあるダマスカス～パルミラ～デリゾール・ルートの交差点方面からパルミラに入った。ホテル「セミラミス」付近で激しい先頭があり、数時間後、義勇軍がダーイシュ（IS、イスラム国、ロシアで活動が禁止されている組織）のテロリストらを破り、後退させた。

<http://bit.ly/1pKSQRQ>

### 3月24日は悲劇の日。十字架に磔にされたユーゴスラビア

(スポーツニク 2016年03月25日 06:06)

◎ 写真: <http://bit.ly/22JoYDg>

今から17年前、コソボでの人道的大惨事の防止という名目の下、ユーゴスラビアでNATO軍による空爆が始まった。作戦は、国連安全保障理事会のしかるべき承認を受けずに行われ、前例となった。

複数の情報によると、空爆から約3ヵ月間でおよそ4,000人が死亡した。その中には約90人の子供も含まれていた。軍人も一般市民もNATOの空爆を逃れることはできなかった。例えばNATOの航空機は難民の車列を誤爆した。

◎ 写真: <http://bit.ly/1MoHVqz>

このような「ミス」は、あまりにもたくさんあった。まずは戦略的施設の破壊を使命としたミサイルが、よく「そこではない場所」に命中した。

爆撃は、国に数百億ドルと推定される被害をもたらした。数多くの産業施設に加え、およそ40の病院や幼稚園、約70の学校が破壊されたり損傷を受けた。ユーゴスラビアには少なくとも3万1,000発の劣化ウラン弾が発射され、それにより現在一部の地域では放射能レベルが基準値より30倍高くなっており、人間の健康にネガティブな影響を与えている。

◎ 写真: <http://bit.ly/1PujvXy>

◎ 写真: <http://bit.ly/1UeJI4a>

<http://bit.ly/1S9WzyI>

### 英国防大臣、英国には核兵器が必要と主張

(スポーツニク 2016年03月25日 01:12)

◎ AFP 2016/ Justin Tallis <http://bit.ly/1WpTChA>

英国のファロン国防大臣は、英国には核兵器が必要だと主張、ただし、それが適用される相手はテロリストではない、とした。「我々には人々と同盟国を防衛する政治的・道義的責任がある。しかし、核兵器がテロとの戦いを目標としたことは一度もない」。英国防相がロンドンで述べた。

英政府は国際社会の要請を受け、核開発を支持し、発展させてきた。「2050年前後まで当面の間は自前の核兵器は必要だ」と国防相。英国には核開発の支持と発展はあまりに大きな出費になって

いる、との声もある。

<http://bit.ly/1T8yIEh>

### **ケリー米務長官、シリア国民の状況、米露の協力で改善**

(スプートニク 2016年03月25日 02:16)

◎ Sputnik/ Sergey Guneev <http://bit.ly/1QrtFOk>

米露のシリアに関する協力は大きな成果をもたらし、シリア国民の状況を向上させた。ケリー米務長官はプーチン大統領との会談でこのように述べた。ケリー長官は、「我々の国家間の協力にむけてシリアスなアプローチが行われたおかげで、特にシリア住民の生活に関して、またこの問題における進展と動きに関して、シリアスな成果とシリアスな結果をもたらされたといっても過言ではない」と語った。

<http://bit.ly/25o0amD>

### **元セルビア人指導者に禁固 40 年の判決**

(スプートニク 2016年03月25日 04:10)

◎ REUTERS/ Robin van Lonkhuijsen/Pool <http://bit.ly/21JNfXh>

旧ユーゴスラビア国際刑事裁判所（ICTY）は、1992年から1995年のボスニア・ヘルツェゴビナ紛争時の犯罪容疑で、ボスニアの元セルビア人指導者ラドヴァン・カラジッチ被告の有罪を認めた。

ICTYは、ボスニア紛争時の人道に対する罪、国連職員を捕虜にとったこと、また1992年から1996年のサラエボ包囲に関与した容疑で有罪とした。またカラジッチ被告は、1995年にスレブレニツァで発生したジェノサイド（集団虐殺）でも有罪とされた。

判決を言い渡したのは韓国の権五坤（クォン・オゴン）裁判官。カラジッチ被告には、禁錮40年が言い渡された。

カラジッチ被告は13年にわたって逃亡生活を続けた。拘束される数年前にはセルビアの首都ベオグラードでドラガン・ダビッチという名の医師になりすまして暮らしていた。被告は2008年7月21日にベオグラードで拘束された。

<http://bit.ly/1Rkiua1>



## オバマ氏が広島に行ったとしても、米国は日本に攻撃国としての過去を忘れさせない

(スプートニク 2016年03月25日 09:17 タチャナ フロニ)

© REUTERS/ Toru Hanai <http://bit.ly/1URUmNk>

オバマ米大統領は5月、日本でのG7サミットに参加する際に広島を視察する可能性がある。1945年に米国が原子爆弾を投下した広島への大統領の視察問題をホワイトハウスは目下検討中だが、最終的に広島訪問、訪問の形態、期限を決めるのはオバマ氏自身だ。

今まで、広島を訪問した米大統領はひとりもない。このため懐疑派はオバマ氏は過密スケジュールを理由に広島視察を行わないという方に傾いている。米国では未だに、広島長崎の犠牲者に悲しみを表すのは合目的ではないとされている。それは原爆投下が、米軍人の犠牲者をこれ以上出さず、日本の降伏を早めるという軍事上の必然性から行なわれたとされているからだ。

ロシア人歴史家らはこれに対して別の視点を持っている。広島長崎に原爆が投下されるまでにはソ連はすでに日本に宣戦布告を行っており、これが関東軍の大破と日本の降伏をすでに近いものにさせていた。米国は日本の諸都市に原爆を落とすことで、自国はソ連に対抗する破壊力の大きな兵器を持っているところを見せ付けたかったのだ。ロシア科学アカデミー極東研究所日本調査センターのヴァレリー・キスタノフ所長は、原爆の威力をこえだけ惨いやり方で見せ付けることに米国人は何の困惑も感じていないとして、次のように語っている。

「米国にしてみれば、日本はあの戦争では攻撃していた側であり、最初に真珠湾を奇襲して米国を襲った。この事件はルーズベルト大統領の発言では米国が辱めを受けた日となった。広島長崎の原爆投下に対米国の原則的な立場はここを起点にしている。だから米国は懺悔もせず、これをこの先も行なっていく構えなのだ。米国はもし自分たちが弱みを見せ、広島長崎を見て欲しいという日本政権の誘いに乗ったら、この先これを日本は米国が罪を認め、部分的に懺悔したととらえるはずだと信じきっている。そうなれば、これは日本人の意識に犠牲の役割だけを植えつけることになるだろうと。だが、日本だってアジアの諸民族に多大な痛みを与えており、未だにアジア太平洋地域では攻撃国として記憶されているのだが。」

米国は今年、広島でG7サミットを行なうという日本政府の構想にはっきりとノーを表した。それでもこれだけデリケートな問題で自国の最重要連合国を完全に無視することは米国には出来ない。なぜならG7外相サミットはやはり広島での開催が決まっており、そこにはケリー長官も行くからだ。キスタノフ氏は、にもかかわらず日本が今一番重きをおいているのはオバマ氏の広島訪問だと指摘している。

「オバマ氏はノーベル平和賞を受賞しており、米国はこの人物を平和と核軍縮を目指す闘士として推し進めている。このためオバマ氏の広島訪問はロジックにかなっていないはずだ。もしオバマ氏は訪問を行えば、安倍氏は内政的にはかなりの点数を稼ぐことができる。安倍氏は歴史の名を残すための3つの路線を思い描いている。1つは平和憲法の見直しを勝ち取ること。もうひとつは日本人拉致者の問題を解決すること。最後は南クリル問題を解決することだ。だが



そのどれとして大きな進展は見せていない。それでもオバマ氏の広島訪問が実現すれば、安倍氏は歴史に名を残すことになるはずだ。」

だがもしこれが実現したとしても、公式的なレベルで広島長崎への原爆投下に対して「米国が懺悔」するというテーマを持ち出す人は誰もいないはずだ。米国は「ビッグ・ガイ」としての自国のイメージを壊すことは望まない。それに日本の与党も主たる連合国を怒らすことはしたくないのだ。

<http://bit.ly/lpKVkj9>

### 「イスラム法の理解度試験」RT報道でダーイシュ（IS）の内情が明らかに

(スポーツニク 2016年03月25日 11:02)

写真 1/2 <http://bit.ly/1UozfDF>

テレビ放送RTのサイトにダーイシュ（IS、イスラム国、ロシアで活動が禁止されている組織）の文書およびダーイシュの元捕虜の証言が掲載された。ダーイシュの組織構造が明らかになった。文書はシリア北部の街シャッドジ襲撃の際クルド人民防衛隊（YPG）が入手し、のちRTの現地特派員の手に入ったもの。このときYPGのもとに、捕虜にとられていたトルコやサウジアラビアなどの戦闘員も加わり、ダーイシュについて証言を行なった。

◦ RT. <http://bit.ly/1SkqhDK>

#### イデオロギー教育

ダーイシュは幼少時からのイデオロギー教育を行なっている。RTはYPG経由で学校教育用の教材を入手。戦闘員らはイスラム法の知識や、子供に教育をほどこす能力などを試験される。

「教材」には、次のような設問がある。「ダーイシュの戦闘員による断頭の様子をあざ笑う人にはどのように対処すべきか」。正しい答えは「間違っている。その者はアッラーの宗教を笑い者にしているということだから、信仰を否定している」。

次の質問。「封鎖下にあるキリスト教徒に食事を与える人にはどのように対処すべきか」。正解は「軽度の裏切り。アッラーよりも隣人を愛しているから」。こんな質問もある。「民主主義とは何か。民主主義に賛成する人にはどのような罰が下るか」

興味深いことに、これらの文書には、教師のための証明書が添付されており、イスラム法の知識がパーセンテージで評価されている。ロシアの統一国家試験と同様だ。氏名ごとに点数および評定が記されている。「弟子入り可能」「要再訓練」などだ。

◦ RT. <http://bit.ly/25o0Bx2>

## 実用言語としてのロシア語

ロシア語がダーイシュで最も人気のある言語の一つであることは秘密ではない。中央アジア諸国やロシア本国の出身者で、ほとんどアラビア語を知らない人たち同士が話す言語として使われている。

解放されたシャッタジ市のいわゆる「チェチェン」クウォーターを映した RT の映像に、ロシア語によるスプレー落書きが映っている。なかなかの芸術性だ。

「アッラーの許しなしにはいかなる魂も死ぬことはない！」とのコーランの一節が壁に書かれている。

◎ RT. <http://bit.ly/1RAphIu>  
「イスラム法の理解度試験」RT 報道でダーイシュ (IS) の内情が明らかに

◎ RT. <http://bit.ly/1Uozpes>  
「イスラム法の理解度試験」RT 報道でダーイシュ (IS) の内情が明らかに

<http://bit.ly/1UPwb1X>

## 日本防衛相「北朝鮮 自国の戦闘ミサイル能力を向上」

(スプートニク 2016 年 03 月 25 日 15:08)

◎ AP Photo/ Eugene Hoshiko <http://bit.ly/10HbsM3>

日本の防衛省は、北朝鮮は、自国の戦闘ミサイルの性能を絶えず向上させ、しかるべき技術を積極的に模索していると見ている。

今日、中谷防衛相は、閣議後、東京での記者会見で、そうした見方を示した。中谷防衛相は、北朝鮮の指導者、金正恩氏が今週、成功裏に終わった弾道ミサイル用新型固体燃料エンジンの実験を個人的に視察したとの報道をコメントし、次のように述べた—

「固体燃料ミサイルを所有した事で、容易かつ迅速にミサイル打上げが可能となった。北朝鮮は、絶えず自国のミサイルの性能を改善し、そのために必要な技術の獲得を目指している。日本の自衛隊は、どのような状況になってもそれに対応するため、万全の準備態勢をとるだろう。」

<http://bit.ly/1oc4hQR>

## 約 100 隻の中国船 マレーシア海域内に

(スプートニク 2016 年 03 月 25 日 15:16)

© REUTERS/ Kim Kyung-Hoon <http://bit.ly/1SbUWAp>

マレーシアのベルナマ通信は、カシム首相報道官の声明を引用し「およそ 100 隻の中国の船舶が、南シナ海のマレーシア領海内に入った」と伝えた。この出来事は、昨日木曜日、カリマンタン島の北方にあるルコニア環礁海域で起きた。マレーシア当局は直ちに、海軍に対し、南シナ海の状況を監視するよう指示した。

カシム報道官は「もし、船舶がマレーシアの自由経済水域内に入った事が明らかとなった場合、必要な安全保障上の措置を講ずるだろう」と述べた。世界の海上輸送のほぼ三分之一が、南シナ海を通過しているほか、この海域の島々の大陸棚には、豊富な石油資源が眠っている。南シナ海の島々に対しては、中国以外に、ブルネイ、ベトナム、マレーシアそしてフィリピンといったアセアン諸国も、領有権を主張している。

<http://bit.ly/25oQ30F>

## 金正恩第一書記 ソウル攻撃に向けた準備を求める

(スプートニク 2016 年 03 月 25 日 15:39)

© REUTERS/ KCNA <http://bit.ly/1NUuHhT>

北朝鮮（朝鮮民主主義人民共和国）の指導者、金正恩第一書記は「朝鮮人民軍は、ソウルにある南朝鮮（韓国）政府の建物を攻撃する準備を整えなければならない」と述べた。韓国の聯合ニュースが伝えた。金正恩第一書記は、砲兵兵団を視察した際「南朝鮮の首都ソウルにある政府建物の容赦ない殲滅にむけ、その準備をする必要がある」と述べ「兵士達は、戦闘意欲に満ち、高度な戦闘準備態勢になくてはならない」と指摘した。先に伝えられたところでは、韓国の朴槿恵（パク・クネ）大統領は、軍人に対し、全土の安全を保証する警戒措置を高めるよう指示した。

<http://bit.ly/1UifBZH>

## 日本警察 トルコから強制送還された男性が「ダーイシュ（IS）」参加を計画していたとの証拠発見できず

(スプートニク 2016 年 03 月 25 日 16:24)

© AFP 2016/ Toru Yamanaka <http://bit.ly/1ZBEfnC>

日本の治安機関は、テログループ「ダーイシュ（IS、イスラム国）」に参加するつもりだった

とされ、トルコから昨日強制送還された23歳の日本人男性について、その証拠を発見できなかった。今日、和歌山県警が伝えた。

先に伝えられたところでは、トルコ警察は、この日本人男性が持っていた携帯電話の中に「ダーイシュ（IS）」戦闘員とのやり取りを裏付けるメールを発見したとの事だったが、日本の警察は、そうした情報を確認する事が出来なかった。また男性の所持品の中から、彼と「ダーイシュ」を結びつけるようなものは何も見つからなかったとの事だ。

取調べに対して、この男性は「日本ででの生活に疲れた」と述べながらも「シリアへは単に旅行者として行きたかった。テロ組織に入るつもりなどなかった。こんな大騒ぎになるとは、思っても見なかった」と強調している。

そうした事から、和歌山県警は「彼の行動の中に、犯罪的につながるような企ては何もなかった」との結論に達した。

<http://bit.ly/1ZBEnU4>

## ロシア、クリル諸島に最新ミサイルと無人機を配備へ

(スプートニク 2016年03月25日 18:40)

© Sputnik/ Ramil Sitdikov <http://bit.ly/1RsuLrH>

沿岸用ミサイル複合体「バル」と「バスタチオン」および新世代の無人機は2016年、再軍備計画の過程でクリル諸島に配備される。25日、ショイグ露国防相が明らかにした。「予定されていたクリル諸島の軍部隊の統合再軍備が行われている。今年、ここには沿岸用ミサイル複合体『バル』と『バスタチオン』および新世代の無人機『エレロン3』が配備される。」ショイグ国防相は省内の会議で明らかにした。ここ数年、国防省はクリル諸島での軍事上の建設を活発に行っている。ショイグ国防相が明らかにしたように、ロシア軍は今年、クリル諸島および北極の諸島部における軍事インフラの形成を終了する。

<http://bit.ly/1q6BgYb>

## 安倍首相は「尋常でなく野心的」

(スプートニク 2016年03月25日 20:57 リュドミラ・サーキャン)

© Sputnik/ Michael Klimentyev <http://bit.ly/1PL3yR9>

日本の安倍晋三首相は3月24日、日本の高校生らに対し、南クリル、日本の言い方で「北方領土」にかつて住んでいた人たちが、存命中に帰還を果たせるよう望む、と述べた。安倍首相は24日、総

理官邸で、第30回「北方領土を考える」高校生弁論大会で優秀賞を受賞した高校生らによる表敬を受けた。

スピーチの中で安倍首相は、若い世代が先祖たちの思いを受け継ぐことが重要だ、と述べた。先日行われた「北方領土」返還をめぐる集会でも、安倍首相は、「問題は肯定的に解決される」と公言。2018年の任期満了までに問題解決に向け事態を前進させる意向を示した。

そうした意欲があるからこそ、安倍首相はロシアのプーチン大統領との会談にかくも熱心なのだ。4月にはラヴロフ外相が東京を訪問し、安倍首相のロシア訪問について議論を行うことになっている。領土問題の早期解決への確信を示す安倍首相だが、先見の明をもった行動が取れているのだろうか。高等経済学院のアンドレイ・フェシュン氏は次のように語る。

「両国関係の質的向上のきざしが何ら見られない中で安倍首相がロシア訪問やプーチン大統領との関係構築、ロシアとの全面的関係拡大にこだわっていることには、当惑を覚える。なぜ今なのか？なぜ、これほどこだわるのか？ 私は、この問題は、哲学と心理学の範疇に属し、安倍首相の家族の歴史、さらには、彼の個人的な野心に関連していると思う。安倍首相は、現代日本の一般的な政治家とは、毛色を異にしている。内政についても外政についても、彼のやり方は、既存の政治勢力とは一定程度対立しており、他の政治家からの独立性、独自性を示している。特に、ロシアとの関係改善および領土問題解決に向けた熱い意欲のこもった発言で、安倍首相は既存の政治勢力をひどく苛立たせている。ロシアとの領土問題など簡単に解決できる、などと考えるほど、安倍首相がナイーブであるとは思わない。ただ、安倍首相は、尋常でなく野心的なのだ。もっとも、日本の政治家としては、の話だが。彼は人と違う。彼の野心が、彼を「最初の人」にする。多数の二国間問題を解決した、最初の人。防衛問題を前進させ、米国からの自立と独立を強め、憲法を変え、領土問題を解決し・・・これらの「最初の人」になる、ということだ。」

どうやら安倍首相は、ロシアは今、西側からの孤立、経済減速で、苦しい状態にある、と見ていようだ。今こそ諸島について実質的な議論を進められる待望の機会だ、と首相は感じているらしい。しかし、日本の専門家らですら、このような期待は幻想である、と見ている。もっとも、安倍首相には、領土問題でわずかな前進があれば、それで十分なのだ、とも考えられる。自分は約束を実行するべく全力を尽くした、と有権者に示せるようなものが、なんでもいいからほしい、といったところかもしれない。

たしかにプーチン大統領は、繰り返し、日本と平和条約を締結し、南クリル問題を最も受け入れ可能な形で解決する必要がある、と述べている。たしかに、特に今、ロシアにとって、日本との関係は、きわめて重要かつ必要である。しかしロシアには、そうしたことを領土問題の解決に関連付ける意向はない。

<http://bit.ly/1MqumHa>

## シリア軍、「パルミラ城」を奪還

(スプートニク 2016年03月25日 22:23)

© AP Photo/ Ron Van Oers <http://bit.ly/1RkOwmd>

シリア軍は義勇軍と共にパルミラにあるファフル・アド・ディン・アル・マアニ城を「ダーイシュ（IS、イスラム国）」から奪還することに成功した。

パルミラ奪還作戦に加わった軍部の消息筋が通信社「スプートニク」に明らかにしたところによれば、シリア軍は戦略的に重要な拠点であるファフル・アド・ディン城（パルミラ城の名称で知られる）を掌握した。

消息筋は「シリア軍歩兵隊は連合軍とともにパルミラ市に入る場所を再び掌握した。昨日、アルセリアアタル丘の陣地を奪還し、今日は歴史的建造物であるパルミラ城を奪還した」と語っている。消息筋は、ここまですれば大規模作戦と市と州を3方向から大きく攻めることで、パルミラの完全奪還は時間の問題と語る。

<http://bit.ly/1RqZ0gF>

## ピエール・カルダン 衣料品の生産をロシアに移動

(スプートニク 2016年03月25日 21:37)

© AFP 2016/ Josep Lago <http://bit.ly/1LNJLRQ>

フランスの著名なファッション・ブランド「ピエール・カルダン」の代表らは、衣料品の生産をロシアに移す事に関し交渉を開始した。

ラムブラー・ニュース・サービス (Rambler News Service) によれば「同社は、外国のライセンスの放棄を決めた」との事だ。ロシア国内で販売される「ピエール・カルダン」の製品はライセンス生産され、その所有者は、ドイツや米国、イタリアで働く。

「ピエール・カルダン」の後継者で、同社のデザイナーであるロドリゴ・バジリカティ氏は「私は、生産をロシアの工場に移したいと思っている」と述べ、次のように続けた—

「そうならばあなた方も好いし、私達も好い。ロシアの産業を支援する事になる。今は、ロシア人が『ピエール・カルダン』を作り始めるために、理想的な好機だ。」

<http://bit.ly/1UP9bkK>

## フォース：ロシアの石油企業は脆弱ではない

(スプートニク 2016年03月25日 23:56)

© Fotolia/ Tarasov\_v1 <http://bit.ly/1MqvB9p>

現在の経済状況の中でロシアの石油会社は外部の脅威に対する驚くべき抵抗力を見せている。フォースが23日報じた。フィッチ・レーティングスは22日、低原油価格はロシアのエネルギー企業の格下げにつながらない、と発表した。

一方、米国のエネルギー会社はローンを支払うことができず、破産申請を余儀なくされている。これらはみな、原油価格が1バレル40ドルを下回った結果だ。

フィッチは、ロシアの中央銀行が人為的為替レート調整を2014年の終わりに停止したのは正しい決断だったとしている。ルーブルの切り下げで国に入って来るルーブル建ての石油輸出収入が増加し、低い為替レートがロシアのエネルギー会社に利益をもたらすことになった。

<http://bit.ly/1MHBFFh>

## シリアでダーイシュ（IS）のナンバー2が殲滅

(スプートニク 2016年03月26日 01:34)

© Sputnik/ Andrey Stenin <http://bit.ly/1Rle3Yb>

ダーイシュ（IS、イスラム国）の指導者の一人ハジ・イマームが殺された。25日、NBCが報じた。ダーイシュ指導部で二番目に重要な人物だという。NBCは米軍人情報としてこれを伝えたが、後に米国のアシュトン・カーター国防長官もこの情報を確認した。昨年、米務省は、ハジ・イマームの所在に関する情報に700万ドルの懸賞金をかけた。

[twitter.com/](http://twitter.com/) <http://bit.ly/1XTuakp>

<http://bit.ly/1pCbt9R>

## 日本よ、F35戦闘機も買います、露中とも仲良くしますというのは、矛盾では？

(スプートニク 2016年03月26日 09:49 アンドレイ・イワノフ)

© Flickr/ US Air Force <http://bit.ly/loy060h>

日本の抱える計画には第1に、領土問題を解決し、平和条約を解決してロシアとの関係改善することが掲げられているが、第2の計画では米国の戦闘爆撃機F35を買い上げ、自国領土に配備することになっている。これについて、モスクワ国際関係大学、国際調査研究所、上級研究員のアンド



レイ・イヴァノフ氏は次のような見方を表している。

「ロシアと良好な関係にある日本にバカ高いF35が果たして必要なのか？ ロシアは日本に攻撃しようとは絶対にしていない。ロシアは第2次世界大戦の結果を尊重しており、その結果、サハリン南部と南クリル諸島を再び管轄下においたが、北海道は日本の固有の領土としてこれを占領しようとはしなかった。日本のマスコミのよく言うクリミア『併合』は、ロシアの攻撃性と拡張を証明するものにはなりえない。なぜならクリミア半島は過去何世紀もの間、ロシアの領土であったのであり、その住人は主にロシア人で、彼らこそがクーデターのカオスで汚れたウクライナから離れて、ロシアの懐に戻ることを望んだからだ。

ところでロシアの対空防衛スキルと最新のスホイ35、ミグ35、ツポレフ50の性能を考慮した場合、米国防総省が大々的に宣伝する最新の米航空機を購入するというのはドブに金を捨てるに等しい。おそらく日本の防衛省でもこれはわかっているのだろう。だからバカ高いおもちゃのF35は日本の軍部にとっては、ここ数年尖閣諸島を要求して日本を威嚇する中国からの防衛に必要なのだろうと思う。だが中国だって、ロシアから最新の対空防衛システムや航空機を購入できるのだ。そうなればF35は中国に対抗する手段にすらならない。

こうなると誰かさんとの間の領土問題を解決する最良の方法は軍備ではない。だが中国との対話は今のところあまりうまく行っていない。それに比べ、ロシアの方は日本とはどんな難しいテーマでも話し合う構えなのだ。このため今年5月、安倍氏がソチに行こうとしているのはこのリゾート地でプーチン大統領と露日の二国間関係を話し合おうとしているからだ。安倍氏は既に、ロシア大統領と会談し、平和条約と「北方領土」、つまり南クリル諸島の問題の進展を得たいという声明を再三にわたって表している。これにプーチン大統領も何度も、対日関係はロシアにとって非常に重要だと語り、平和条約の一日も早い、互恵的解決が行われることに賛同を示している。しかもロシアも日本もこの「互恵的解決」を見つけることが、いやはや、そんなに簡単なお話ではないことは重々承知しているのだ。それでも安倍氏はロシアに行くだけではない。あらゆる場所でも、領土論争の一日も早い解決を期待すると声明を表し続けており、まるで自らの手で自分を困難な状況に追いやることを恐れていない。

安倍氏はナイーブわけでも経験に乏しいわけでもない。つまり彼がこう行動したということは論理があるということになる。つまり、思い切った予想をするならば、ロシアと領土問題を解決する構えだと豪語したことはつまり、米国を前にしてプーチン大統領との会談を正当化するために必要だったからではないのか。その米国はここ数週間、ロシアとの協力の凍結を解除したが、それでも他の国にはこれを行うことを許していない。実際、安倍氏にはラジカルに対露関係を改善する必要があるのかもしれない。ところでこれが成立すれば、中国ともずっと話はつけやすくなるはずだ。なぜなら日本がF35を軍備しようとも、米国と軍事同盟を築いていようとも、そんなことは中国との話ではシリアスな論拠とはみなされないし、相手がロシアとなれば、なおさらの話だからだ。」

<http://bit.ly/1LQH4W>

## クリル諸島に配備されるロシア艦隊の規模は日本との関係次第だ

(スプートニク 2016年03月26日 10:12)

写真 1/2 <http://bit.ly/1TbHYrp>

クリル諸島(千島列島)に配備される可能性のあるロシア海軍艦隊の規模は日本やその他のアジア太平洋地域の国々との関係次第で変わるだろう。ロシア連邦院国防・安全保障委員会のヴィクトル・オゼロフ委員長がリア-ノーヴォスチに語った。

ロシア海軍はクリル諸島に艦隊の基地設立を検討している。25日、ロシアのセルゲイ・ショイグ国防相はこのように発言した。だが、オゼロフ委員長は、ロシアがクリル諸島に軍艦基地の設立を検討していることを日本は威嚇と捉えないでほしいと言う。オゼロフ委員長によると、クリル諸島への艦隊の配備は国境の安全保証を強化するためのものだという。オゼロフ委員長は中国の例を挙げ、ロシアは中国と海上で長い国境を接しながらも「軍事面を含め平和と信頼の関係を築くことができた」と語った。

<http://bit.ly/1Msh9Jo>

## ダーイシュ（IS）はアジア諸国の安全保障を脅かすー防衛研究所

(スプートニク 2016年03月26日 13:25)

◎ 写真: Cyberberkut's vkontakte <http://bit.ly/lobyalc>

ダーイシュ（IS、イスラム国）はアジア諸国の安全保障を脅かしている。防衛省防衛研究所が25日に発表した年次報告書をもとにロシアのメディアが報じた。「日本の市民が以前に中東に行って殺された事件もあり、リビアの韓国外交代表部が攻撃された一件もある。ダーイシュは東アジアの安全を脅かしている」という。2015年1月半ば、ダーイシュは、動画を公開して、日本人の後藤健二氏と湯川遥菜氏を殺害すると予告、日本政府から身代金を求めた。結局ふたりとも死亡した。以後、日本国民は、シリアなどの中東諸国の訪問を控えるよう勧告されている。

<http://bit.ly/1XVzzYj>

## 3,000人以上が日本当局の難民指定拒否に抗議

(スプートニク 2016年03月26日 15:56)

◎ AFP 2016/ Angelos Tzortzinis <http://bit.ly/1UQeDDY>

昨年、少なくとも3120人が、難民指定を拒否されたことにつき、日本政府に抗議を行った。法務省が今日、報告を行った。日本の当局が難民指定を行うことは極めてまれだ。2015年は7,586件の

申請のうちわずか0.4%にあたる27件のみが受理された。当局は、難民申請数の急激な増加は、法制が緩和され、申請が審査されている6ヶ月の間、申請者が日本で働けるようになったことと関連している。

2015年は69カ国の出身者が申請を行った。最多はネパールで1,768人、以下インドネシア(969人)、トルコ(926人)。欧州では中東からの難民の問題が切迫しているが、日本に難民申請を行ったシリア人はわずか5人で、うちの3人が指定を得た。

<http://bit.ly/25ql1Wc>

## **EU、ヤヌコーヴィチ元大統領とその息子たちに17万ポンドの賠償金を支払うようウクライナに義務付け**

(スプートニク 2016年03月26日 16:55)

© Sputnik/ Sergey Pivovarov <http://bit.ly/1PxHiWp>

欧州連合(EU)裁判所は制裁解除事務の枠内にける支払いへの賠償金として、ウクライナの元大統領ヴィクトル・ヤヌコーヴィチ氏とその息子たちに17万ポンド(24万ドル)を支払うよう、ウクライナに義務付けた。金曜、ウクライナのエレナ・ルカシュ元法相(2013~2014)がFacebook上で発表した。

ウクライナで2014年2月22日に政権交代が起き、新指導部はヤヌコーヴィチ氏をはじめ、多くの元高官や政治家の責任追及を開始。EUは2014年3月5日に、ヤヌコーヴィチ氏とその息子たちを含め、一連のウクライナ国籍者に制裁を課した。一部の役人は裁判所に反訴を提起した。

2014年12月24日、ウクライナは、ウクライナ人役人の訴状の審理開始に関する発表を撤回する旨をEU裁判所に通知し、一部原告の費用を弁償することを決めた。V.ヤヌコーヴィチ、A.ヤヌコーヴィチ、V.ヤヌコーヴィチ・ジュニア(2015年死去)の3原告への賠償金は、それぞれ57,317.50ポンドとなる。「つまり、ウクライナの法務省の過失により、債務の額はすでに171,952.5ポンドにのぼっている」と法相。

<http://bit.ly/22PPf2E>

## **ヨルダン王、欧州のテロにおけるトルコの役割について米国議員らに語る**

(スプートニク 2016年03月26日 18:56)

© AP Photo/ Alexander Zemlianichenko <http://bit.ly/1WYCrYp>

ヨルダンのアブドラ国王は秘密会合の中で米国議員らに対し、トルコのエルドアン大統領は、地

域問題に対する「イスラム過激派」的解決を提案しており、テロリストらの欧州への侵入は「トルコの政策の一部」であると語った。

また、2016年の初め以降、リビアにおける作戦には、英国の特殊空中部隊が動員されている、と述べた。また、英国軍は、アサド政権軍と戦ったシリア南部の機械化大隊の形成にも関与していた。ガーディアン紙が会話の内容を聞き出すことに成功した。

ガーディアン紙によれば、2016年1月11日から17日までの期間、ヨルダンのアブドラ国王は米国議員らに対し、英国の特殊空中部隊が動員されている、と述べた。リビアの状況についてはジョン・マケイン議員も知らされていたという。国王はまた、トルコのリーダーによってもたらされる危険性について、米国の政治家らに警告した。

<http://bit.ly/1pDswZ6>

### **バグダッド、スタジアムで爆発：死者数は増加中**

(スプートニク 2016年03月26日 19:46)

◎ REUTERS/ Wissm al-Okili <http://bit.ly/1ZFeMd8>

25日、バグダッド南郊にある競技中のサッカースタジアムで自爆テロが行われ、40人が死亡、100人以上が負傷した。先の報道では29人が死亡、少なくとも60人が負傷となっていた。AFP通信によれば、事件はバグダッド近くのエル・アスリア村で発生した。すでにダーイシュ（IS、イスラム国、ロシアでは活動が禁止されている組織）が犯行声明を出している。

[twitter.com/](http://twitter.com/) <http://bit.ly/1RCU6MH>

動画 <http://bit.ly/1V0gdzc>

<http://bit.ly/1WRkzKS>

### **パルミラで激しい戦闘**

(スプートニク 2016年03月26日 19:40)

◎ Sputnik/ Mikhail Voskresenskiy <http://bit.ly/1TbK5eW>

シリア政府軍とテロ組織ダーイシュ（IS、イスラム国）の戦闘がパルミラのほぼ全域で進行中だ。戦闘区域外には市の歴史地区がある。リア・ノーヴォスチ特派員が現地から伝えた。土曜朝、パルミラ攻撃が再開した。「高地の要塞を確保後、我々の兵士たちが直下の街区を占領した。ダーイシュは我々の拠点に対し戦車や地上発射装置より砲撃を続けている。散発的な迫撃砲の射撃も行

われている」。攻撃部隊「砂漠の鷹」司令官アブ・ハムゼ氏が語った。

<http://bit.ly/1ZFftD7>

## 米国のF-35で日中のパワーバランスは均衡するか？

(スプートニク 2016年03月26日 19:52 タチヤナ フロニ)

© AP Photo/ Rick Bowmer <http://bit.ly/1SntT83>

米軍は2017年1月、第5世代戦闘機F-35を日本の岩国基地に配備する。現在、同機はアリゾナ州の基地で配備に向けた準備を進めている。

また、日本政府はF-35戦闘機を付属システム付きで42機購入する計画だ。これで日本の空中戦闘力は強化され、空対空および空対地の防衛能力が向上する。これまで価格が上昇したり納入が遅延されたりはしたが、日本は莫大な出費にも用意があるようだ。その中には重大な戦略が透けて見える。ロシアの軍事専門家ウラジーミル・エフセーエフ氏はそう語る。

「現在の中国のリーダー、習近平氏は、領土問題の解決に一定の軍事力を使用することを辞さない。この戦略は、中国抑止を念頭に置いている。このような状況下で、日本は圧倒的な制空権をつことを望んでいる。米国の第五世代戦闘爆撃機F-35の購入でその目的を達成しようとしているのだ。この戦闘機はステルス性能に優れているので、中国による領土紛争の武力解決を防ぐのには非常に有効であると考えられる。しかも戦闘機F-35をこれほど多数購入するということだから、これはもう空中連隊を組むと言ってもいいようなことだ。そして、F-35戦闘機は、シリアで目覚ましい活躍を見せたロシアのSu-34の類似品でもある。F-35は、さまざまな展開方法を可能にする。米国では、地上基地用機としても、艦上戦闘機としても使用されている。日本では、地上基地用機となる可能性が高い。いずれの場合も、F-35戦闘機は、迎撃用機にも、ミサイル爆撃機にも使えるものだ。つまり、汎用性があるのだ」。

F-35は世界で二番目に作られた第五世代の航空機である。最初のものはF-22「ラプター」だが、国家安全保障上の理由から、米国は他の国には同機を販売しない。日本にとって、中国抑止による国家安全保障の重要性が高まっている、とエフセーエフ氏。

「いま中国は空軍と海軍の近代化プログラムを実施している。日本はこのレースにおいて中国におくれを取ることを非常に恐れている。そのため、日本は、F-35のような航空機を購入することで、地域のパワーバランスが維持される、と期待している。中国には、高品質かつ現代的な戦闘爆撃機を生産する能力がない。よって、中国の対抗措置として、ロシアの航空機の購入ということも考えられる。ロシアにとって、これは一定のプラスだ。しかし、全体的に言ってこうしたことは、北東アジアの軍拡競争を強化させる。要するに、F-35を購入するという日本の決定は、地域の安全保障の強化に寄与しないのだ」。

日本の防衛省は英国の「ユーロファイター・タイフーン」、フランスの「ラファール」などでなく、米国の F-35 を選択した。しかし、専門家によれば、その信頼性には疑問の余地がある。以前、米国国防総省試験評価局は、F-35 の技術的な欠点に関する報告書を発表している。操作性の悪さ、アビオニクス不安定、アフターバーナー、ヘルメット型情報ディスプレイなどについての難点が記されたものだ。

<http://bit.ly/1oe1KW7>

### **ベルギーのリエージュで3件の爆発 負傷者がいるもよう**

(スプートニク 2016年03月26日 20:13)

© Wikipedia/ De A.Savin <http://bit.ly/21MLKaR>

ベルギーのリエージュで昨夜、3件の爆発があり、現地警察情報では、死亡者はいないものの、けが人が出ている模様だ。爆発は、住宅地のそばで起きた。ベルギーのベルガ通信によれば、複数の建物が、わずかだが被害を受けた。

事件の容疑者は、男性で、すでに拘束されたが、今のところ警察は、この人物の行動がテロかどうか断定できていない。現在までに入った情報では、この男性は、爆竹を使用したと見られる。欧州全域では、ブリュッセルで起きた同時テロ事件のあと、警戒態勢が強められ、治安機関は「爆発物」に神経質になっている。

<http://bit.ly/21MLMQe>

### **ベルギー、核テロの脅威：何者かが原発警備員を殺害、通行証奪う**

(スプートニク 2016年03月26日 21:25)

© AFP 2016/ Emmanuel Dunand <http://bit.ly/1T5QWq8>

ベルギーのチアンジュ原発の警備員が死体で発見された。通行証は盗まれている。土曜、デルニエレ・ホイレ紙が警察発表をもとに報じた。「木曜日の夜、シャルルロワ市で犬の散歩中、警備員が殺害された。通行証は盗まれている」。死因は明らかにされていない。電子カード型の通行証なので、犯罪が露見したのちすぐに無効化されたという。先に地元メディアによって報じられているように、ベルギーの原子力発電所は、3月22日のブリュッセル連続テロ犯らの優先標的となっていた。

<http://bit.ly/1MJIKoK>

## メルケル首相、ベルギー自爆テロ犯との友情を疑われる

(スプートニク 2016年03月26日 21:30)

© REUTERS/ Francois Lenoir <http://bit.ly/1Rm3jNz>

ソーシャルネットワークのユーザーらが、ブリュッセル空港の自爆テロ犯に似た難民がドイツのメルケル首相と写真に写っている、と指摘している。昨年9月、メルケル首相はベルリンの難民キャンプを訪問した。外国から来た難民らは首相と記念写真をとった。その中に自爆テロ犯ナジム・ラシュラウイと思しい若者がいる。ラシュラウイはブリュッセル連続テロのコーディネーターと見られている。

twitter.com/ <http://bit.ly/1Se2QcB>

<http://bit.ly/1pQhwIt>

## 独司法相、ドイツでのテロの可能性について発言

(スプートニク 2016年03月27日 07:33)

© AFP 2016/ <http://bit.ly/1RGX0Gx>

ハイコ・マース独司法相がドイツがテロの標的になる可能性について発言した。南ドイツ紙によると、ブリュッセルの次はドイツがテロリストの新たな標的になる可能性があるという。これを受けマース司法相は、政府当局はテロの脅威から国民を保護するため最高水準の安全保障措置を取るとした。

<http://bit.ly/1UuiLKt>

## パリ連続テロ容疑者、ベルギー捜査当局との協力拒む

(スプートニク 2016年03月27日 09:04)

© REUTERS/ Police Nationale/Handout <http://bit.ly/1MgbsCM>

パリ連続テロを組織したとされるサラフ・アブデスラム容疑者は22日に行われたブリュッセルの空港や地下鉄での爆発について話をすることを拒んでいる。フランス紙ル・モンドが報じた。2015年11月のパリにおけるテロの後、容疑者はブリュッセル郊外に身を隠していたが、今月18日、ベルギーの諜報機関による捜査の際に逮捕された。逮捕後、容疑者は捜査に協力し、供述を行うようになった。弁護士は、アブデスラムの供述はベルギーの諜報機関にとって「金より貴重な」ものだと述べた。しかし、ブリュッセルでの事件後、もはや供述を行わないと宣言。同容疑者はまた、ブリュッセルで爆発を起こした犯人として同定されているハリドおよびブラヒムのバクラウイ兄弟を



知らないと述べている。

<http://bit.ly/1Uuj1cq>

### **ハッカーら、テロ背景にベルギー首相の無責任を咎めて処罰**

(スプートニク 2016年03月27日 10:23)

◦ Fotolia/ Brian Jackson <http://bit.ly/1Snvenc>

ベルギーのシャルル・ミシェル首相のウェブサイトが今日、ハッカー集団「ダウン・セク」からのサイバー攻撃を受けた。サイバー攻撃はブリュッセルのテロ事件時におけるベルギー当局の行動に関連しているという。ハッカー集団が自身の Twitter で明らかにした。同組織は、連続テロから数日後にテロへの警戒を弱めたことは当局の無責任な決定であるとして、首相に辞任を呼びかけた。

<http://bit.ly/1pDu8SM>

### **ケリー国務長官：ベルギー同時多発テロ後、米当局はプーチン氏の決定をよりよく理解できるようになった**

(スプートニク 2016年03月27日 12:27)

◦ AFP 2016/ Saul Loeb <http://bit.ly/1meMaIS>

米国はブリュッセルでのテロ事件の後、ロシアのプーチン大統領の決定をよりよく理解できるようになった。ジョン・ケリー米国務長官が24日、ラヴロフ外相との共同記者会見で語った。「ブリュッセルで行われた恐ろしいテロ事件の後、今日我々に課せられた課題がどのようなものであるかということを忘れてはならない。つまり、シリアにおける紛争を解決し、ダーイシュ（IS、イスラム国）撃滅に全力を尽くすことだ。こうして我々は、ここ数年のプーチン大統領による決定をよりよく理解できるようになった。そして、今後どうするべきかも、よりよく理解できるようになった。」とケリー国務長官。

<http://bit.ly/1V0tpuw>

### **北朝鮮「もし韓国当局が、軍事演習について謝罪しないならソウルを攻撃」と威嚇**

(スプートニク 2016年03月27日 13:19)

◦ REUTERS/ KCNA <http://bit.ly/1ZUK3sM>

北朝鮮軍は、もし韓国大統領が、米国との合同演習について謝罪しないのであれば、ソウルを攻

撃すると威嚇した。26日、韓国聯合ニュースが伝えた。聯合ニュースは、次のような北朝鮮軍の発表を引用している。

「もし我々の最後の警告が無視されるのであれば、我が国(朝鮮民主主義人民共和国・北朝鮮)の長距離砲は、容赦のない軍事行動に移るであろう。」

韓国内では、1万7千の米国兵が参加して大規模な軍事演習が実施された。演習の一部では、戦争を想定し、北朝鮮の核及びミサイル施設殲滅に向けた作戦の仕上げがなされた。

<http://bit.ly/1V0tw9j>

### **NATO司令官、対ロシア偵察機の使用再開をEUに促す**

(スプートニク 2016年03月27日 15:26)

◎ Flickr/ Earl <http://bit.ly/210iYXy>

米空軍大将でNATO欧州統合軍司令官のフィリップ・ブリドラフ氏は、ロシアに対する作戦を実行するためにEUに偵察機U-2を再配備する必要性を訴えた。インディペンデント紙が報じた。U-2は「冷戦」の間、米空軍が積極的に使用していた。ブリドラフ氏は、当該機は「ロシアの脅威の高まり」に効果的に対抗するために必要な追加的諜報手段となる、と述べた。ロシアのNATO大使アレクサンドル・グルシコ氏はロシアが「安全保障に対する主要な脅威」と呼ばれているこの新戦略について、これは現実の安全保障上の要求にも世界の発展の上での要求にも合致していない、と述べた。

<http://bit.ly/210j0i0>

### **イタリアでベルギー連続テロを幫助した容疑者、逮捕**

(スプートニク 2016年03月27日 20:01)

◎ AFP 2016/ Marcello Paternostro <http://bit.ly/1REqsqe>

イタリア警察特殊部隊が土曜、サレルノ県で、ベルギーの捜査当局よりベルギー連続テロを幫助した容疑で手配されていたアルジェリア人を逮捕した。地元メディアが報じた。この男性、ジャマル・エッディン・ワリは、パリおよびブリュッセルのテロ犯のために偽造文書を製作した疑いがかけられている。

<http://bit.ly/1Rn21Rf>

## シリア軍、パルミラを完全に解放（動画）

（スプートニク 2016年03月27日 19:18）

© Sputnik/ Michael Alaeddin <http://bit.ly/1ZFRNyy>

シリア政府軍はパルミラの街をダーイシュ（IS、イスラム国）から完全に解放した。軍部の情報をもとにAFPが伝えた。「夜間の激戦の末、軍がパルミラを完全に制圧した。歴史地区も、住宅地も、両方だ。」

シリアに6つあるユネスコ世界遺産の一つ、パルミラ遺跡のあるパルミラは、5月半ば、武装勢力のコントロール下に入り、古代の遺跡や寺院が破壊の脅威にさらされていた。

動画① <http://bit.ly/1Uw9Qbs>

動画② <http://bit.ly/1pSZju0>

<http://bit.ly/22SIM7a>

## メディア、メルケル首相がブリュッセルテロ犯とセルフィを撮ったという報道を否定

（スプートニク 2016年03月27日 16:20）

© AP Photo/ Markus Schreiber <http://bit.ly/1TdkPVA>

ドイツのメルケル首相と一緒に写真に写っているシリア人は、ブリュッセル連続テロ犯の一人ではない。ドイツのポータルMmnewsが報じた。先に、メルケル首相が欧州入りした難民をフロントカメラで撮影した際、のちブリュッセルでテロを行う者とセルフィを行った、との報道がなされた。22日にブリュッセル空港で爆破テロを組織した疑いのあるナジム・ラシュラウイの画像が発表され、このことに注目が集まった。しかし、メルケル首相と写っていた若い男は、ベルリンの家族に引き取られた18歳のアナス・モンダマニ氏であることがわかった。引き取り先の家族と親交のある作家で出版者のケルスチン・ハク氏の報告で明らかになった。

<http://bit.ly/25rEje2>

## 米国防長官 約1年間公務上のやりとりに私用メールアドレスを使用

（スプートニク 2016年03月27日 17:01）

© AP Photo/ Susan Walsh <http://bit.ly/210jZP7>

米国のカーター国防長官が、ほぼ1年にわたって公務上のやりとりに私用のメールアドレスを使

っていた。AP通信が3月26日に報じた。AP通信は、情報公開法に基づいてカーター国防長官の1,336通のメールを公開した。米国防総省では、公務で私用のメールアドレスを使用することが固く禁止されている。

先に前米務長官で米大統領選挙指名争いに立候補しているヒラリー・クリントン氏にも同様のスキャンダルが勃発した。クリントン氏は在任中に私用のメールアドレスを公務で使ったことが問題となり、国務省に電子メールを提出したが、約3万通のメールは個人的なメールだとして削除した。

<http://bit.ly/1REri6h>

### **トランプ氏「ダーイシュ」とアサド大統領と同時に戦うのは愚かなこと**

(スプートニク 2016年03月27日 17:31)

© AFP 2016/ DOMINICK REUTER <http://bit.ly/1SfL9cT>

米大統領選挙の共和党指名争いに出馬している大富豪のドナルド・トランプ氏は、テロリストはシリア大統領よりもはるかに大きな問題であるため、テロ組織「ダーイシュ（IS、イスラム国）」とシリアのアサド大統領と同時に戦うのは愚かなことだとの考えを表した。

トランプ氏は、26日付のニューヨーク・タイムズ電子版に掲載されたインタビューで、「私はアサド氏ならびに『ダーイシュ』と戦うというアイデアは狂気の沙汰であり、愚かなことだと考えている。彼らは互いに闘っており、私たちは彼らの両方と戦っている」と述べた。

トランプ氏によると、「ダーイシュ」は米国にとってアサド大統領よりもはるかに大きな問題だという。トランプ氏は、「ダーイシュ」との戦いにおける主な戦略は、「ダーイシュ」が石油にアクセスできないようにすることだとの確信を示し、「私は、彼らから石油を奪えと何年も言ってきた。しかし彼らはまだ石油にアクセスすることができる」と指摘した。

<http://bit.ly/1Td1pCP>

### **ベルギー検察：シャルルロワで殺された人物は原発警備員ではない**

(スプートニク 2016年03月27日 17:55)

© Sputnik/ Victorya Ivanova <http://bit.ly/1Uwbaef>

ベルギーの検察は、シャルルロワ市で死体で発見された男は原発警備員だったという報道を否定した。検察によると、犬と散歩中に殺され、死体で見つかったディディエ・プロスペロア氏は、パトロール隊員だった。体には銃創が見つかっており、警察は強盗殺人事件の線で捜査を行っている。

テロリストの加担という線は検討されていないとのこと。

<http://bit.ly/1LSXbfw>

### 元駐ロシア米大使 パルミラ解放に対してロシアに感謝

(スプートニク 2016年03月27日 18:08)

© Sputnik/ Ruslan Krivobok <http://bit.ly/1SfLZWV>

米国のマイケル・マックフォール元駐ロシア大使はツイッターで、戦闘員らに掌握されていたシリアの古代都市パルミラの解放に協力したことに対し、ロシアに感謝の意を表した。マックフォール氏は、パルミラでの作戦成功に関する在米国ロシア大使館の知らせにツイートし、ロシア語でありがとうという意味の「С п а с и б о (スパシーバ)」と書き込んだ。

なおマックフォール氏は以前、ロシアに対して温かい感情を抱いていなかったほか、同氏は「カラー」革命の専門家として有名だったため、多くの人はマックフォール氏が駐ロシア大使に任命されたのを脅威とみなしていた。

[twitter.com/](http://twitter.com/) <http://bit.ly/25rF72v>

<http://bit.ly/1XXcLay>

### プーチン大統領補佐官：ドル価格は3倍に引き上げられた

(スプートニク 2016年03月27日 18:52)

© Sputnik/ Vladimir Trefilov <http://bit.ly/1SfMGj2>

経済協力開発機構（OECD）の推計によると、現在のルーブルの為替レートは、ドルに対して3倍に引き下げられている。ロシア大統領補佐官セルゲイ・グラジエフ氏が述べた。「ロシアと米国のそれぞれで商品をバスケットに取り、100ドルで何が買えるかを比べる」と、ドルの購買力が23～25ルーブルであることが分かると言う。ルースカヤ・スルージヴァ・ノヴァスチエイが報じた。大統領補佐官によると、ロシア中央銀行は、ロシア経済の競争力を確保できるレベルで為替レートを固定する必要があった。つまり、23～25ルーブルでなく、60～80ルーブルということだ、と同氏は強調する。ちょうどこのような変動が過去2年間にわたって観察されている。この週末の為替レートは、1ドル68.4346ルーブル、1ユーロ76.4004ルーブルとなっている。

<http://bit.ly/1pEEx05>

## ダーイシュ（IS）、欧州に血塗れのメッセージ

(スプートニク 2016年03月27日 19:40)

© REUTERS/ SITE Intel Group <http://bit.ly/1PzC4cG>

アントワープ出身のダーイシュ（IS、イスラム国）戦闘員ヒシャム・シャイブがインターネットで捕虜の処刑動画を公開、ベルギー、欧州、全世界に対し、新たなテロを行うと公言した。ベルギーのVRTテレビが報じた。動画では、目の前にひざまずいた男を銃殺するに先立ち、戦闘員がオランダ語で「ダーイシュと戦っている有志連合諸国、ベルギー国民、ベルギー政府、欧州、世界に対し」、すべての者に新たなテロが待つ、と述べた。ヒシャム・シャイブはベルギーの非合法組織 Sharia 4 Belgium（「ベルギーのためのシャリア」）で支部指導部警護という非常に高い職階を持っていた。昨年2月アントワープ裁判所は、不在裁判でシャイブに禁固15年の刑を宣告した。

<http://bit.ly/1PzC5xv>

## 警察、移民がギリシャ国境に殺到することを危惧

(スプートニク 2016年03月27日 19:57)

© AFP 2016/ Andrej Isakovic <http://bit.ly/1Rz1n2Z>

ギリシャ警察はイドメニその他の難民キャンプに集まった難民らが大挙して国境を横断する可能性に備え、必要な措置をとっている。すでに難民らがマケドニアの国境へ大挙して殺到したことがあったが、この時はスコピエから出動した治安部隊によって制止された。ギリシャのテレビチャンネル「メガ」によると、難民の間に、日曜にも国境が開かれ、シェンゲンエリアに入ることができるようになる、との流言が出回っている。指示書も配られている。警察は、これらの虚偽情報が大規模な衝突につながることを恐れている。ギリシャ警察によると、難民の指示に当たっているのは、この24時間以内にテッサロニキその他の欧州諸国から到着した、よく知られているアナーキストら。先に、国境閉鎖に抗議する移民らがギリシャの主要高速道路の一つを封鎖し、焼身自殺を行う騒ぎがあった。

<http://bit.ly/1REtaw0>

## 航空会社「フライドバイ」の元パイロット 飛行中に眠り込んだと語る

(スプートニク 2016年03月27日 20:11)

© Sputnik/ Maksim Blinov <http://bit.ly/22Gj2hg>

テレビ局RTは、アラブ首長国連邦の格安航空会社フライドバイの元パイロットを名乗る人物から書簡を受け取った。この書簡によると、航空機の乗組員は非常に疲れており、ある時、機長と副

操縦士が操縦室で眠り込んでしまい、誰も操縦していない状態に陥ったという。書簡では、次のように述べられている—

「飛行は、暗く、穏やかな深夜に行われた。我々は上昇し、高度 8,000 メートルを越えた。これは私が覚えている最後のものだ。私が目を覚ましたとき、我々はすでに数分間、高度 1 万 1,000 メートルを飛んでいた。」

機長は副操縦士に謝ろうとしたが、副操縦士も疲れて眠り込んでいたという。航空機は約 8 分間、誰も操縦しないまま飛行していた。夜間飛行が多いため、機長も副操縦士も離陸準備の報告の前に十分な睡眠をとることができなかったという。

機長は「指導部は、我々パイロットは飛行して眠るだけだと考えている。指導部は私たちにも個人的な生活や家族がいることを考慮していない。このような態度は、我々が大きなストレスや疲労を感じる原因となる」と訴えた。なお書簡によると、このような飛行が行われたのは 2015 年。

<http://bit.ly/1MuHzim>

## **ダーイシュ（IS）、ロシア市民に対するテロを9ヵ国で準備**

(スプートニク 2016 年 03 月 27 日 20:44)

© REUTERS/ Tumay Berkin <http://bit.ly/1VPuYIG>

テロ組織ダーイシュ（IS、イスラム国）はトルコを含む9ヵ国でロシアとイスラエルの市民に対するテロを計画 중이다。土曜、ポータル Haber Turk が報じた。トルコの諜報当局の情報では、これはガズィアンテプ市で拘束したダーイシュ戦闘員の尋問の結果として得られた情報。それによると、30 人のテロリストが爆発物によるテロの訓練を受けたという。トルコ当局は治安措置を強化している。先にやはり諜報当局の情報として、ダーイシュは少なくとも戦闘員 400 人を訓練し、欧州に派遣したと報じられている。

<http://bit.ly/1TdnBkm>

## **ウクライナ インフレ率で世界一**

(スプートニク 2016 年 03 月 27 日 21:31)

© REUTERS/ Valentyn Ogirenko <http://bit.ly/22GjEUv>

米中央情報局（CIA）は、ウクライナにとって悲観的な 2015 年の総括を発表した。マイダンの勝利国ウクライナは、インフレの世界ランキングで事実上最下位になった。



C I Aの報告書によると、ウクライナのインフレ率は世界で最も高い49パーセントに達し、ランキングで225位となった。

ランキングではベネズエラが最下位となっているが、これはC I Aにはベネズエラのデータがなかったため最下位とされたものであり、ウクライナは事実上2015年の世界記録を樹立し、インフレ率で南スーダン(41.1%)、シリア(33.6%)、イエメン(30%)などを凌駕した。

<http://bit.ly/1ZFTfRy>

### **ロシアの議員 子供が生まれた場合、住宅ローンの支払い免除を提案**

(スプートニク 2016年03月27日 22:25)

◦ Flickr/ Pedro Serapio <http://bit.ly/1ofJn3d>

ロシアの議員たちは、若い夫婦に子供が生まれた場合、住宅ローンの一部を国が肩代わりし、さらに2人目以降の子供が生まれた場合には、その度に支払額も削減されることを提案した。「ロシア新聞」が27日、報じた。なおロシア社会院のメンバーであるエレナ・トボレワ＝ソルドゥノワ氏はこの提案について、「『母親資本』プログラムが部分的にこの問題の解決に役立っている。この資金を居住環境の改善に充てることができる。しかし常にこの資金が十分であるわけではない。しかも一般的に若い夫婦が経済的にあまり安定していないことを考慮した場合、彼らには住宅ローンを払う余裕はない」と述べた。

<http://bit.ly/22SNGkI>

### **パルミラ解放後初となる映像が公開される(動画)**

(スプートニク 2016年03月27日 22:40)

◦ Sputnik/ Mikhail Voskresenskiy <http://bit.ly/25rGwpy>

ロシアのライフニュースが解放後初めてとなる世界遺産パルミラの映像を公開した。ユネスコの世界遺産に登録されているパルミラは昨年5月の占領以来約1年間ダーイシュ(I S、イスラム国)の支配下にあった。公開された映像ではパルミラの多数の文化遺産が「ダーイシュ」によって破壊された様子を確認することができる。

**動画** <http://bit.ly/1UwdDp2>

<http://bit.ly/1VPvoPf>

## ロシア外務省：アサドはロシアでなく西側の友人だ

(スプートニク 2016年03月28日 08:05)

© Sputnik/ Aleksei Druzhinin <http://bit.ly/1M6zvlx>

ロシアはシリアでアサド大統領を支援しているのではない。アサド大統領はかつて一度としてロシアの親友だったことはなく、国の崩壊を防ぐために努めている。ロシア外務省のマリア・ザハロワ報道官が述べた。

「我々はアサドを支援しているのではない。彼は我々の親友ではなく、西側の友人だった。我々は、合法的な政府、政権の維持を支援したのだ」と報道官。大統領が退陣すれば政府も退陣する。すると行政府と軍が崩壊する。するとテロリストがシリアに対し、リビアが「気楽な散歩」に見えるようなことをするだろう、と報道官。同時に、アサド大統領はシリア現体制にいくつかの変更を行う準備を示しているとの情報もある。

<http://bit.ly/1MuJlQx>

## ロシア外務省の情報筋:北朝鮮は6ヵ国協議の再開を希望している

(スプートニク 2016年03月28日 10:18)

© Sputnik/ Maria Frolova <http://bit.ly/1TfDgRb>

朝鮮民主主義人民共和国は自国の核問題を巡る6ヵ国協議の再開に関心を寄せている。ロシア外務省の情報筋がこのように発言した。「北朝鮮は現在アメリカとの協議を望んでいるが実現できていない。北朝鮮の核・ミサイル実験は毎回、アメリカが北朝鮮との協議を拒否し、その上、軍事境界線での軍事演習を強化させた後で行われている」と情報筋は言う。先週、北朝鮮は日本海に向けて5発のミサイルを発射した。中距離弾ミサイルの発射を含めると、これで過去2週間で3度目の北朝鮮によるミサイル実験が行われたことになる。

<http://bit.ly/1qanoMH>

## ローマ法王 テロに対して「愛の武器」を使うよう呼びかける

(スプートニク 2016年03月28日 11:01)

© AFP 2016/ Andreas Solaro <http://bit.ly/1VPw5YJ>

ローマ法王フランシスコはイースター（復活祭）の説教で、「無分別で残忍な暴力」の悪と戦うために「愛の武器」を使うよう世界に呼びかけた。ローマ法王は、「復活したイエスが、世界の様々な場所で血を流し続けている無分別で残忍な暴力の形であるテロの犠牲者たちと私たちをこのイー

スターに近づけますように。神は愛の武器で利己主義と死に勝った」と述べた。ローマ法王は信者たちを前に、最近ベルギー、トルコ、ナイジェリア、チャド、カメルーン、コートジボワールで発生した過激主義者たちの攻撃を振り返った。ローマ法王は26日の「聖土曜日」、バチカンのサン・ピエトロ大聖堂でミサを執り行い、27日にはサン・ピエトロ大聖堂のバルコニーからイースターの説教を行った。

<http://bit.ly/1pEGREM>

## 中国人観光客 外国で2,150億ドル使う

(スプートニク 2016年03月28日 12:13)

© AFP 2016/ Fabrice Coffrini <http://bit.ly/1LT1Y07>

世界でもトップクラスの「爆買い」する国民である中国人が、再び外国旅行支出額で首位になった。世界旅行ツーリズム協議会 (World Travel & Tourism Council, WTTC) が発表した。

中国人が2015年に外国旅行で支出した金額の合計は、2,150億ドル。これはベトナムの国内総生産 (GDP) に匹敵する。2015年に中国人観光客から最も大きな利益を受けた国は日本。円安や中国人観光客向けのビザ政策が影響した。2015年に中国人観光客が日本で支出した額は約50%増加したという。

<http://bit.ly/1TdpJBY>

## アル・モニター、米国の参加によるエルドアン大統領に対する陰謀説を展開

(スプートニク 2016年03月28日 13:48)

© AP Photo/ Emrah Gurel <http://bit.ly/1Uyn7Qy>

米国で実業家レザ・ザッラブ氏が逮捕されたとのニュースはトルコのエルドアン大統領とその側近にとって悪いニュースだった。分析ポータルアル・モニターが報じた。

「多くの人が、米国に到着したらすぐに逮捕されるということをザッラブ氏が知らなかったはずはなく、もし (米国当局との) 契約がなかったのなら、米国には行かなかっただろうと考えている。彼はトルコ当局者に関わる、エルドアンへの圧力の道具となり得る情報を連邦当局に開示しているのかもしれない。」

ザッラブ氏は19日、トルコおよびアラブ首長国に送金システムと企業のネットワークを作っ  
てイランが米国の制裁を回避する助けをしたとの容疑で、フロリダ州の連邦当局により逮捕された。

「よくある質問は、情報暴露でザラブ氏は誰を破滅させるのか？ というものだ。多くの人  
が、もし今回の逮捕劇の背後に何らかの大規模な陰謀があるなら、そのタイミングがエルドア  
ンと米国、欧州連合（EU）、ロシアとの関係が緊張しているこの今であることは、何者かが  
トルコ大統領の排除を欲しているということの証拠であり得る、と考えている。」

<http://bit.ly/1qcC9yw>

## 米パトリオットは北朝鮮のミサイルから日本を守ってはくれない

（スプートニク 2016年03月28日 19:17 タチヤナ・フロニ）

© AP Photo/ Shizuo Kambayashi <http://bit.ly/1pWqCn2>

北朝鮮当局による相次ぐ弾道ミサイルの発射を受け、日本は、パトリオット対空ミサイル防衛シ  
ステムを常時配備する。米国のシステムが防衛省の近くに2017年3月までに設置される計画。これ  
らの措置の目的は、政府機関本部が集中している東京周辺の防衛強化だ。

これまでは、北朝鮮の弾道ミサイル発射の脅威があると、そのつど近くの場所から東京にパトリ  
オット PAC-3 が持ってこられ、のちもとに戻された。最近でも北朝鮮が日本海の方に複数の短距  
離弾道ミサイルを発射しており、これが日本に戦略変更を強いたと見られる。しかし、ロシアの軍  
事専門家ウラジーミル・エフセーエフ氏によると、この措置は、北朝鮮のミサイルの脅威から東京  
を守るには全く不十分だ。非常に単純な理由がある。米国のパトリオットシステムは、単に、この  
種のことを目的に作られてはいないのである。

「防空システム・パトリオットは対空システムであり、ミサイル防衛システムではない。迎撃  
有効範囲はかなり低く、弾道弾を迎撃することはできない。有効高度は20キロを超えないのだ。  
パトリオット PAC-3 では、仮にミサイル攻撃の命中する危険のある方向に配置される場合であ  
っても、行政区などごく限られた領域しか保護することができないだろう。しかし、パトリオ  
ット PAC-3 は日本領土のいずれの地点にも到達することができる北朝鮮の弾道ミサイル『ノド  
ン』や『ムスダン』から東京全体を保護してはくれない。」

ではなぜパトリオットが東京に配備されるのか？ この質問に答え、エフセーエフ氏は次のよう  
に述べた。

「同種のシステムは、9月11日のテロの後にホワイトハウスの周りに配備された。しかし、  
私は、それが本当に強く必要なことであるのかどうかは疑問に思っている。ミサイル防衛のた  
めの最も効果的な装置は、やはり米国のTHAADおよびイージスである。これなら数千キロ  
離れたミサイルからも防衛ができる。しかしこれらのシステムも、迎撃能力は限定的だ。軽い  
ダミーの飛行体があった場合、大気上層ではそれとの見分けがつかず、大気の緻密な層で行うこ  
とになる。また、グループ発射、つまり、ミサイル連隊による攻撃の場合、すべての弾頭を迎  
撃することは非現実的だ。」

ゆえに、北朝鮮のミサイルの脅威から東京を守る方法としては、軍事でなく、外交のほうが優れている、ということになる。北朝鮮が、自らの安全の保証を受けた場合には、北朝鮮は喜んで日本と「攻撃しない」という協定に署名するだろう。ただし、その保証は、東京だけでなく、ワシントンからも得る必要がある。

<http://bit.ly/1VQNDny>

### **英マスコミ パルミラ解放に対する米英指導部の無反応を批判**

(スポーツニク 2016年03月28日 20:37)

© AP Photo/ Virginia Mayo <http://bit.ly/1K09pzu>

英国の新聞「ザ・インディペンデント」によれば、英国は、シリアのパルミラ解放、つまり「ダーイシュ（IS、イスラム国）」最大の敗北について、2年間の沈黙を決意した、との事だ。ロバート・フィスク氏は、同紙の記事の中で、次のように指摘している—

「この土日、黒衣の死刑執行人ら（ダーイシュの戦闘員ら）がパルミラを去った。その時。キャメロン首相もオバマ大統領も、沈黙を守った。パルミラ解放までの数日間に、米軍参謀本部が、同地区のダーイシュの陣地に対し、2回空爆をしたとの報告を聞き、私は笑いこらえる事が出来なかった。これが、米国の『テロリストとの戦い』に関し、貴方が知る必要のある実際すべてなのだ。もしシリア軍が、ロシア軍支援のもと、ダーイシュが自らの首都とするラッカを奪い取ったら、西側は、再び沈黙を守るに違いない。」

27日、日曜日、シリア軍は「シリア及びロシア空軍支援のもと、パルミラを奪還しコントロール下に置いた」と発表した。パルミラは、昨年5月からダーイシュの支配下に置かれ、貴重な歴史遺産などが多数破壊されていた。

<http://bit.ly/1SioVXz>

### **シリア軍兵士 パルミラでサッカー**

(スポーツニク 2016年03月28日 20:40)

© Sputnik/ <http://bit.ly/1TfvpLP>

シリア軍は、昨年5月からテロリストらに支配されていた同国中部パルミラを奪還した。テロリストらから解放された古代都市パルミラの通りでは、兵士たちがサッカーをしている。ロシアのプーチン大統領は、シリアのアサド大統領との電話会談でパルミラ解放を祝福し、世界文化のためにパルミラを保存する重要性を指摘した。またアサド大統領は、ロシアなくしてこのような成果を

げることは不可能だっただろうと述べた。

facebook.com/ <http://bit.ly/22J96nF>

<http://bit.ly/1qcEeuh>

### **シリアでの作戦はロシア製武器への国際的需要を高めた**

(スプートニク 2016年03月28日 22:42)

© AP Photo/ Manish Swarup <http://bit.ly/1Ror4Vn>

シリアにおけるロシア航空宇宙軍の作戦は、ロシア製武器の性能を世界に示し、それに対する他の国々の関心を高める、効果的なデモンストレーションの場となった。消息筋の資料によれば、ロシア製武器の購入を計画している国々の中には、アルジェリア、インドネシア、ベトナム、パキスタン、イラク、イラン、サウジアラビアが含まれ、潜在的な契約総額は、60から70億ドルに達し、この額は、ロシアがシリアでの作戦に要した費用をかなり上回るものとなる。

例えば、具体的に挙げれば2015年12月には、スホイ-32型機12機の注文がアルジェリアからあった。この契約に関する取引は、およそ8年もの間緩慢な速度で続けられていたが、シリアでの空爆の成功が、契約成立に新たな刺激を与えた。シリアでの軍事作戦に、ロシアは330億ルーブルを出費した。プーチン大統領は「ロシア製武器は、シリアにおける実戦でのテストに立派に合格した。この経験は、ロシア軍の改善を可能にするだろう。」と述べている。

<http://bit.ly/1RM9ZGV>

### **ドローン、シリア政府軍による制圧後のパルミラを撮影（動画）**

(スプートニク 2016年03月28日 22:42)

© Sputnik/ Dmitriy Vinogradov <http://bit.ly/1Y0Utq5>

シリア軍はロシア航空宇宙軍の支援を受け、パルミラの文化保護区を奪還した。同市は過激派ダーク・イシュ（IS）に占拠されていた。そして、過激派による占領の期間、この古代都市の文化的なモニュメントは甚大な損傷を蒙った。古代の寺院の多くが爆破されている。

**動画** <http://bit.ly/1US5Pxx>

<http://bit.ly/1Ssv466>

## リビア沿岸警備、移民数百人を欧州に送らせず

(スプートニク 2016年03月28日 23:25)

© REUTERS/ Yannis Behrakis <http://bit.ly/25tsaFk>

27日、リビアの沿岸警備は移民600人が乗った大型ボート3隻が拿捕された。地中海から欧州入りを目指していたもの。Yahoo! Newsが報じた。アユブ・カッセム海軍大佐によると、沿岸警備はトリポリから西へ70kmのサブラタ沿岸で拿捕を行ったという。移民は全員「アフリカ人」とのこと。北アフリカからEUへの不法な移民輸送ビジネスが2011年のカダフィ政権崩壊以後空前の規模だ。欧州への難民のルートとしては他にトルコ経由のものが人気。

昨年ドイツをはじめとするEU諸国はシリアその他中東諸国からの空前の難民ブームに見舞われた。戦争や空爆から逃げて避難所を求める数百万の移民たちである。今年も当面この勢いはとまらなそうだ。

<http://bit.ly/1US6cIj>

## ウクライナ大統領 外国の力を借りたドンバス復興を提案

(スプートニク 2016年03月29日 09:38)

© AP Photo/ Mindaugas Kulbis <http://bit.ly/1SswHRi>

ウクライナのポロシェンコ大統領は、ドネツク州訪問の際「自分は外国の代表者達に、ドンバス地方（ウクライナ南部・東部）復興資金の拠出を求めた」と述べた。また大統領は「地域には、国際平和維持軍部隊を導入すべきだ」と指摘した。

ポロシェンコ大統領は、次のように述べている—

「他の国々の代表達に、ドンバス復興のための資金を出してくれるよう求めた。私は絶えず、我々のパートナー諸国に対し、ドンバスのインフラ復旧のため特別のドナー・ファンドを設立するという問題を提起している。」

3月17日、フランスのオランド大統領とドイツのメルケル首相は、ポロシェンコ大統領と会談した。その際、独仏首脳は、ポロシェンコ大統領に、ミンスク合意の諸条項遂行の必要性について注意を促した。前日同大統領は「ドンバスでの紛争の終結を、近い将来望むべきではない」と発言していた。

<http://bit.ly/1RGK50T>



## 仏空軍 戦闘機の数 を 8年間で 40%削減

(スポーツニク 2016年03月29日 10:42)

© Photo: AP/Gautam Singh <http://bit.ly/1ZHCMwa>

フランス空軍の戦闘機数は航空機ミラージュ-2000 とラファールおよそ 200 機となり、過去 8 年間で 40%削減された。新聞 L'Opinion が、フランス空軍司令官のアンドレ・ラナタ大将の話として伝えた。

フランス空軍の航空機の数と種類が少なくなったことにより、国外の作戦で同時に 20 機以上の戦闘機を使用することができなくなった。

なお現在、フランス空軍の戦闘機およそ 20 機が、アフリカのバルハンと中東のシャマル作戦に参加している。

今後、戦闘機が 1 種類（ラファール）になる計画であることを考慮した場合、将来的に航空機数はさらに削減される可能性がある。

<http://bit.ly/1MxnJD4>

## 尖閣防衛のために陸自駐屯：日本は平和を欲しつつ、戦いに向け準備も？

(スポーツニク 2016年03月29日 11:27 タチヤナ・フロニ)

© AP Photo/ Itsuo Inouye <http://bit.ly/25ttvMj>

日本は、その領有をめぐる日中間で立場が異なっている尖閣諸島（中国名：ジャオユイダオ島）から 150 キロの与那国島（沖縄県）に、陸上自衛隊の駐屯地をおいた。彼らの任務には、外国軍が尖閣諸島への上陸を試みた際、それを撃退する事、南西諸島の海域及び空域のモニタリング活動などが含まれている。

こうした行動は、尖閣諸島をめぐる争いに関する中国との合意拒否を意味するのではないか、武力を持って自国の利益を主張する用意を示しているのではないか、スポーツニク日本のタチヤナ・フロニ記者は、日本研究家のドミトリー・ストレリツォフ氏に、そうした問いをぶつけてみた-

「日本は、平和を欲するなら戦いに向け準備せよとばかりに、武器を取ったと言える。もちろん日本は、中国との経済的パートナーシップの発展や政治対話の正常化に期待を寄せている。しかし同時に、日本は、状況が最悪のシナリオに沿って発展するのを考慮し、中国抑止政策を実施している。この路線は、日本の政治に、もう大分以前に登場したものだが、安倍氏が政権の座についてから、ますます積極的に実現されるようになった。彼は、軍建設の大型プログラムをスタートさせ、防衛予算を増やし、国会では国家防衛に関する法案を通過させた。この法



律は、集団的安全保障の権利を合法とした。2013 年末には、自衛隊の大掛かりな再装備を目指す、かなり野心的な 10 年計画が採択された。その基礎に置かれているのは、まず第一に、ダイナミックな防衛構想で、それによれば、重点は、戦闘行動地区へ機動的に移動できる能力を持つ緊急即応部隊に置かれることになる。その主な展開先は、南西方向、つまり中国方面となる。」

国の防衛能力向上のために、日本政府は、米国から戦闘機 F-35 を 42 機購入する意向だ。専門家らはすでに、この航空機には、現在に至るまで改善されていない一連の危機的欠陥のあることを明らかにしたが、F-35 プロジェクトは縮小されずに、1 兆ドル以上の資金が投入された。これについてストレリツォフ氏は「日本は、一連の理由によって、F-35 を買わされることになるだろう」と述べている—

「日本政府が、多目的戦闘機 F-35 を購入するのは、偶然ではない。三菱コンツェルンとして、日本は、この戦闘機の開発に参加したからだ。これは、一連の国々が参加する多面的な国際プロジェクトで、そこでは日本のテクノロジーも使用された。これは、米国が他の誰とも分け合いたくない極秘事項が含まれているゆえに、他の国々には売却されない F-22 ラプター・プロジェクトとは異なっている。F-35 は、F-22 ラプターよりも幅広い用途で使用できるため、米国人達は、この戦闘機が同盟国、とりわけ日本で使用され、利益をもたらしてくれることを期待している。まして、米国との軍事技術協力のため、日本が輸出制限を緩和したのだから、なおさらである。もし日本が、F-35 購入を突然拒否したら、日本がこうしたプロジェクトに参加した意味がなくなってしまう。」

<http://bit.ly/22JdyCL>

## クナシリ島にロシア海軍基地が設置されるかもしれない

(スプートニク 2016 年 03 月 29 日 14:18 リュドミラ・サーキャン)

写真 <http://bit.ly/22XmT6B>

ロシアは極東における自国の軍事プレゼンスを強化している。ロシアのショイグ国防相が発表した。国防相によると、4 月に太平洋艦隊の専門家たちが、ロシア海軍の基地を設置する件に関して、クリル諸島を含む地域の調査に着手する。

ショイグ国防相は、次のように語った—

「現在、クリル諸島の軍部隊の計画的な統合再軍備が行われている。今年ここには、沿岸ミサイル複合体『バル』、『バスチオン』、そして新世代無人機『エレロン 3』が配備される。4 月に太平洋艦隊の船員たちは大クリル列島の島々に 3 か月の遠征に出発する。主な目的は、太平洋艦隊の今後の基地設営の可能性を調査することだ。」

ショイグ国防相の発言に日本も米国も注目したはずだ。日本は何よりも南クリルに新たな施設が

設置されることを懸念している。アジア太平洋地域を重要な戦略的地域とする米国は、クリル諸島にロシア海軍の基地ができることを挑戦として受け止める可能性がある。

地政学問題アカデミーのレオニード・イワシヨフ総裁は、クリルの防衛力強化計画は、まず日本の軍事能力の増大と関係しているとの考えを表し、次のように語っている -

「核兵器を除いた場合、日本はその機動能力で極東と太平洋艦隊の我々の部隊を凌駕している。日本人が宇宙プログラムを含めたロケット技術だけでなく、核プログラムについても考えているというデータがある。私は、日本が今後も現代兵器を発展させていくと思っている。そこには核兵器が含まれる可能性がある。しかし、それは密かに行われるだろう。」

モスクワ国際関係大学軍事政治研究センターのアレクセイ・ポドベレズキン所長は、クリル諸島の防衛力を強化したいという願望は、日本とロシアの関係に信頼が不足していることと関連しているとの見方を示し、次のように語っている -

「アジア太平洋地域諸国ではここ数年、軍事支出が非常に急速に増大した。過去 10 年間で 2 倍になった。そして複数の国は、懸命になって海軍艦隊を構築している。それらの国が、互いの領有権の主張が悪化した時にどのような行動を取るかは分からない。同地域にはそのような国がたくさんある。私は、事があけっぴろげな軍事衝突にまで発展するとは思っていないが、そのように話す人たちもいる。クリルのロシア海軍基地についてだが、まずこの問題はまだ最終的には決まっていない。2 つ目に我々と日本の間には巨大な海の境界があり、軍事活動は境界の両側で行われている。しかし信頼醸成措置が事実上存在していない。我々と日本の間では平和条約が締結されておらず、正常な善隣関係もない。これはもちろん異常だ。軍事技術協力はノルマであるはずだ。我々日本はこれについて何度も話をしましたが、まだ成果はあまりありません。」

ロシアは 2015 年 12 月、エトロフ島とクナシリ島で軍事都市の建設とインフラの刷新に着手した。また 4 月、3 ヶ月にわたるロシア太平洋艦隊の軍事演習も始まる見込みだ。

<http://bit.ly/1XZTuFB>

## 安倍首相「安保関連法は日米の絆を強化した」

(スプートニク 2016 年 03 月 29 日 15:03)

© AP Photo/ Shuji Kajiyama <http://bit.ly/1I3n9uP>

火曜日午前の参議院予算委員会で、安倍首相は、集団安全保障に関する新しい法律により、日本は米国との同盟的絆を強化できたとの見方を示した。安倍首相は、次のように述べた—「日本を守るため助け合うことができる（日米）同盟になった。同盟の絆を強化した。」

29日から施行された安保関連法は、日本に近い同盟国が攻撃を受け、国の存在や、国民の安全に脅威が生じた場合、自衛隊は武器を使用できるというもので、日本が直接攻撃されていなくても集団的自衛権による武力行使を可能としている。また、他の国から日本が軍事的挑発を受けた場合、武器を使用できる権利も認めている。

さらに新しい法律は、国外の日本市民擁護のため、また他国での日本人捕虜解放のために自衛隊を使用できると規定している。なお日本の野党は、法律採択の際、国の憲法から逸脱したものだとして、反対した。

<http://bit.ly/1RwY1eV>

### **ダーイシュ（IS）トルコの幼稚園襲撃を準備**

（スプートニク 2016年03月29日 16:46）

© AP Photo/ Militant Website <http://bit.ly/1PhYorU>

テロ組織「ダーイシュ（IS、イスラム国）」は、近くトルコで複数のテロ事件を計画しており、その主な標的は、ユダヤ系の子供達だ。月曜日の夕方、英国のテレビ「スカイニュース」が、自分達が独自に持っているルートからの情報として伝えた。

それによれば、テロ事件は、数時間後とまではいかないが、ここ数日中に、学校や幼稚園、若者センターで発生する可能性がある。

なお「スカイニュース」は、特務機関が入手している情報は、先週トルコのガジアンテプで拘束された6人のダーイシュ戦闘員から得られたもの、との事だ。

<http://bit.ly/1MRqIkt>

### **ロシア人学者「米国の政策はロシアにとって主な国際的脅威」**

（スプートニク 2016年03月29日 19:51）

© Fotolia/ KLimAx Foto <http://bit.ly/1RJjhx0>

5月29日に討論クラブ「ヴァルダイ」でロシアの専門家らが示す報告書「国際的脅威2016」の中では、「米国の政策は、ロシアにとって主要な国際的脅威として残るだろう」と述べられている。

新聞イズヴェスチヤによれば、報告書に含まれている脅威リストに、ウクライナはない。米国について言えば、「ヴァルダイ」クラブのプログラム・ディレクターで報告書の作成者の1人、アンドレイ・スシェンツォフ氏は「ロシアにおける米国の政策の評価には、二つのアプローチが存在す

る」と指摘している。それは「米国はロシアを弱体化させるつもりだ」と捉える見方と、「米国は、自分達の目的を追求しつつ、間接的にロシアの利益に損失をもたらしている」という見方である。

またロシアにとってその他の脅威としては、シリアでのロシアの政策が原因で生ずる可能性のあるトルコとの軍事紛争、またイスラム過激派の側からのテロが挙げられている。テロの脅威については、シリア領内で、完全な勝利が収められた場合でも、それは保たれると分析されている。

<http://bit.ly/21SqMaF>

### **C I A長官 モスクワでシリア大統領の運命を討議**

(スプートニク 2016年03月29日 20:22)

© Flickr/ Erik bij de Vaate <http://bit.ly/23Cwtgz>

米国のジョン・ブレナンC I A長官は、モスクワ訪問中、シリアでの休戦遵守、アサド大統領退陣に伴うシリア国内の政治調整といった問題を討議した。これはブレナンC I A長官が協議したとのニュースを、駐モスクワ米大使館がコメントし、伝えたものだ。ブレナン長官がモスクワで誰と会ったかについては、伝えられていない。一方ロシア大統領府は「クレムリンでのC I A長官とのコンタクトはなかった」としている。

協議の詳細は、モスクワの米国大使館で、リア・ノーヴォスチ通信記者に伝えられた。駐ロシア米大使館のウィリアム・スチーヴンス報道官は「シリアでの休戦遵守問題以外に、ブレナンC I A長官は、アサド大統領退陣問題を提起した」と述べている。

報道官によれば、ブレナン長官は「シリアにおける政治的変革のプロセスを完全に支持している米国の立場を確認し、シリア国民の意志を反映する移行を保証するため、アサド大統領退陣の必要性を求めた」とのことだ。なおロシア議会上院・連邦会議国際政治委員会のメンバーでシリア問題の専門家であるイーゴリ・モロゾフ上院議員は「C I A長官のモスクワ訪問は、ダーイシュ（I S、イスラム国）のリーダーに関する情報伝達と関係している可能性がある」との見方を示した。

<http://bit.ly/1UTA1rZ>

### **新たなグローバル金融危機は、いつスタートするか？**

(スプートニク 2016年03月29日 21:09)

© Sputnik/ Alexey Kudenko <http://bit.ly/1pJaq8a>

経済学者や分析専門家達が、次の世界的規模の危機がいつ始まるかを、あらかじめ様々に予測している中、ブルームバーグ・ガドフライ (Bloomberg Gadfly) のコラムニスト、クリストファー・

レンゲル氏は「2018年元旦」という具体的な日付を示した。彼の見解を、以下まとめてお伝えする。

「銀行融資のチャンスがさらに大きく制限され、銀行は最も確実な借り手にのみ資金を提供するようになる新しい規範が、まさに2018年1月から効力を発する。ブルームバーグ通信が行ったアンケートに答えた分析専門家らは皆、こうした措置は『世界中の倒産件数増加を促すだけだ』と指摘している。例えば、銀行領域を調整する規範のみが厳しくなった場合、米国において銀行の働き口の数は、著しく減少してしまった。これは銀行が、追加資本を解放するため、採算の合わない支店を次々閉店せざるを得なかったため、起きた事だ。銀行は、自分達の資金を制限せざるを得なくなる。この事は、さらに多くの倒産を呼び起こすだろう。首にされる人が増え、働き口が少なくなる。そうした事は、世界金融危機再来のシナリオを容易に思い起こさせるものである。」

<http://bit.ly/1LYE043>

### **米務省 パルミラ解放の祝意をシリア政府に伝えるのを拒否**

(スプートニク 2016年03月29日 22:00)

◎ Sputnik/ Mikhail Voskresenskiy <http://bit.ly/1SlnZ4F>

シリア政府軍は、ロシア航空宇宙軍の支援を受け、テロリストの手からついにパルミラを奪還した。米務省のジョン・キルビー報道官が明らかにしたところでは、米国は最終的に、状況が肯定的に発展していることを認めた。

しかし「米国は、この勝利についてシリア政府に祝意を伝える用意があるか」との質問に対し、キルビー報道官は、次のように指摘した—

「(用意があるとは) 思わない。多分、すでに述べたことだけにとどめるだろう。」

少し前に、米務省のマーク・トナー副報道官は、次のように発言している—

「ダーイシュ (IS、イスラム国) の野蛮な支配が、アサド独裁に代っただけで、到底最良の妥協とは言えず、問題の最良の解決法ではない。シリア国民は、ダーイシュかアサドかといった選択をすべきではない。」

恐らく米国政府高官は、彼らが絶えず述べているダーイシュのテロリストに対する戦いよりも一体何が重要なのか、それを明確にできなかったためか、あるいはシリアのアサド大統領に対する長年の嫌悪を抑えられなかったため、こうした行動を示しているだろう。

<http://bit.ly/1Us7tWA>

## 米国 緊急事態で原発稼働停止

(スポーツニク 2016年03月29日 23:02)

© Flickr/ David Blackwell <http://bit.ly/1VSsJV0>

米ワシントン州にあるコロンビア原発を保有する企業は、冷却システムの故障により、原発の稼働を停止する決定を承認した。29日、AP通信が伝えた。原発の職員が、原子炉出力を調節する熱交換器とポンプを冷却するための水供給に問題があることを明らかにしたという。コロンビア原発が完全に稼働を停止するのは今回が初めてではない。コロンビア原発では2011年に水素が発火している。

<http://bit.ly/1VSs0YP>

## 言論の自由の復活か？中国で約2時間グーグルへのアクセスが可能となる

(スポーツニク 2016年03月30日 00:33)

© Flickr/ Noah Scalin <http://bit.ly/1qgsmHP>

中国では検索エンジン「グーグル」がブロックされて使うことができないが、28日から29日にかけて数時間だけアクセスすることができた。29日、サウスチャイナ・モーニング・ポストが報じた。

インターネットの利用者たちは、現地時間で28日22時30分から29日01時15分までグーグルを使用することができた。なお、同じく中国でブロックされているフェイスブックやユーチューブは今まで通りアクセスできなかったという。

グーグルへのブロックが一時的に解除されたのは、アジアの新たなサーバーが立ち上がったおかげだと見られている。

中国のSNSではグーグルへアクセスできたことが幅広く議論され、言論の自由が復活し始めたと評価された。

<http://bit.ly/1RpRxSm>

## シリアの工兵 パルミラの通りで「ダーイシュ（IS）」が残した地雷を爆破（動画）

(スポーツニク 2016年03月30日 02:08)

© Ruptly. <http://bit.ly/1RxLEPE>

シリア軍の工兵たちは、テロ組織「ダーイシュ（IS、イスラム国）」の戦闘員らから解放した

古代都市パルミラで地雷撤去を続けている。

動画では、工兵たちがパルミラの通りに埋設された地雷を爆破させている。

テロリストらはパルミラから撤退する際に世界的に重要な遺跡の大部分を破壊し、残りの部分に地雷を埋設した。ロシアの紛争当事者和解センターのクラレンコ所長が、記者団に伝えた。

所長は、次のように語った—

「『ダーイシュ』のテロリストらの犯罪行為の過程で、世界的に重要な遺跡の大部分が破壊された。戦闘員らは撤退しながら、それらの全部に地雷を埋設した。」

28日、ロシア軍のゲラシモフ参謀総長は、近いうちにもロシア国防省が、テロリストらから解放された地域の地雷を撤去するためにシリアに工兵とロボット技術システムを派遣すると伝え、他の国にも地雷処理作業に参加するよう呼びかけた。

facebook.com/ <http://bit.ly/lq09XPF>

<http://bit.ly/1ZJKmGI>

## 中国石油化工の純益 市場の予想を上回る

(スプートニク 2016年03月30日 03:10)

© AFP 2016/ LIU Jin <http://bit.ly/1VSu9yX>

新聞「ファイナンシャル・タイムズ」が29日に伝えたところでは、中国石油化工集团公司（ちゅうごくせきゆかこうしゅうだんこうし・Sinopec）は、2015年度の純利益を前年比30%減らし、50億ドル（324億人民元）とした。

しかし、この数字は、専門家の予想を上回るものだった。彼らは、純益を299億7千万人民元程度と見積もっていた。

今年1月、中国石油化工は、ここ16年間で初めて、昨年2015年に原油及びガスの採掘量が減ったと発表した。ブレント原油の年平均価格は、昨年、1バレル=54ドルにまで下がった。なお、一昨年の平均は、1バレル=99ドルだった。価格の下落は、採掘会社の財政指標に否定的な影響を与えた。

<http://bit.ly/25v1C95>



## 米専門誌「米国はNATOから去る時が来た」

(スプートニク 2016年03月30日 11:22)

© REUTERS/ Kacper Pempel <http://bit.ly/1QyGzKR>

米国の専門誌「ナショナルインタレスト」は「NATOにおける米国の政策は、古くなってしまった。米国は、世界における自分達の役割を考え直し、真剣にNATOからの脱退を考える時が来ている」と指摘した。

この論文は、その理由として、以下の2点を挙げている。

第一に、第二次世界大戦後に形成されたパワーバランスは、今や存在しない。米国は、世界政治における自分達の主導的役割が、長年にわたり必要不可欠であると確信していた。しかし、欧州の国々は、すでにかかなり以前から、自分達の問題を自主的に処理する能力を持っている。

第二に、NATOが創設された時、欧州政治の鍵を握る重要なパートナーとの協力の道具として、それは理解されていた。誰も、NATOが絶えず拡大するだろうなどとは、言っていなかった。しかしソ連邦崩壊後、米国の指導者達は、深く考えずに、あたかもソーシャルネットワーク上で、新しい友人を加えてゆくように、東欧から新しい同盟国を受入れるようになった。しかしNATO憲章第5条が、状況を本質的に複雑で困難なものにしている。この第5条には、NATO加盟国に対する攻撃は、NATO全体に対する攻撃とみなされると書かれている。その結果、米国は、自分達に何の関係もない軍事紛争に引っ張り込まれる可能性がある。

<http://bit.ly/1LZ1W7c>

## アサド大統領「ロシア支援下でのシリア政府軍の成功は、国内の政治調整プロセス加速化を促す」

(スプートニク 2016年03月30日 12:17)

© REUTERS/ SANA <http://bit.ly/25vzmA0>

シリアのアサド大統領は、スプートニク通信の単独インタビューに応じた中で「ロシア支援のもとシリア政府軍が勝利を収めた事は、国内の政治調整プロセス加速化を助けるだろう」と述べた。

アサド大統領は、インタビューの中で、次のように強調している—

「政治調整を妨害する国々が存在する。なぜならそうした国々は、交渉において自分達の条件を無理やり押し付けるために、戦場での我々の敗北を期待しているからだ。そうした国として挙げるべきは、まずサウジアラビア、トルコ、フランスそして英国だ。我々の軍事行動とその成功は、政治調整プロセスの邪魔になるものではなく、その加速化をもたらすだろう。ロシアを、アサドを支持しているとか、シリア政府を支援しているとか言って非難する人達がいる。



しかし、もし5年前のシリア国家の政治に戻るならば、我々は、彼らが友好的ではなかったとしても、あらゆる側に立脚した、すべてのイニシアチブに例外なく、答えていたのだ。」

<http://bit.ly/1V3qVb2>

### ロシア外務省「ラトビアでのスプートニクのサイト閉鎖は露骨な検閲行為」

(スプートニク 2016年03月30日 13:23)

◎ Sputnik/ Alexey Filippov <http://bit.ly/1NiA9Ly>

火曜日、ロシア外務省は声明を発表し「ラトビアでスプートニク通信のインターネット・リソースが閉じられたが、これは差別であり、露骨な検閲の現れである」と指摘した。

29日、バルト三国の一つラトビアは、スプートニク通信のポータルサイトをブロックした。

ラトビア外務省は、これについて「sputniknews.lvというドメイン名の登録は、ウクライナの領土保全と主権、そして独立に関連した制限措置に関するEU理事会決議の諸条件に違反している」と説明した。

ロシア外務省は、これに対し「ニュース通信社に対するラトビア当局の今回の措置は、欧州的な価値観や民主主義的自由に対する挑戦であり、あからさまな検閲行為だ」として強く批判した。

<http://bit.ly/1ZJYD68>

### ロゴジン副首相「ウクライナは、ロシアの衛星をパチンコで撃ち落とす」！？

(スプートニク 2016年03月30日 14:06)

◎ 写真: NASA/Bill Ingalls <http://bit.ly/21SIBGL>

ロシアのドミトリー・ロゴジン副首相は、ウクライナ上空を飛行するロシアの人工衛星に対し、通過料金を課すという提案に、皮肉を込めて、自身のTwitterの中で次のようにコメントした—

「ウクライナの人々は、ロスコスモスの人工衛星を撃墜する事を決めたという。国家親衛隊の全ての隊員達が、パチンコを構えて、我が人工衛星を狙うようになると考えなくてはならない。」

先にウクライナのポロシェンコ大統領のサイト上に、ウクライナ領上空をロシアの衛星が飛行する事に対し、通過料を徴収すべきだとする請願が現れた。

請願の主は「ロシアが支払いを拒否した場合、我がウクライナ側には、衛星を没収し『密輸品』

として殲滅する権利がある」と主張している。

<http://bit.ly/1RJILdA>

### **米国財務省 対ロ制裁の目的を説明**

(スプートニク 2016年03月30日 14:47)

◦ AP Photo/ Andrew Harnik <http://bit.ly/1pK7AQi>

ロイター通信の報道によれば、米国のルー財務長官は「対ロシア制裁は、決定を下す権力の中枢部に向けられたものだ」と述べた。ルー財務長官は、次のように強調した—

「経済制裁は、強力な政治的道具である。簡単に取り扱ってはならない。我々は、制裁が経済成長を鈍化させるからと言って、その適用を放棄すべきではない。米国は、政策を変更する国々に対しては、制裁を解除すべきだ。例えば我々は、自国の核プログラムを制限したイランに対する制裁を解除した。」

米国、EU及び西側の一連の他の国々は、ウクライナ危機を理由に、ロシアの政治家やビジネスマン、さらには一連の防衛、資源関連企業、銀行に対し、制裁措置を導入した。米商務省は、制裁解除のための主な条件として、ミンスク合意の遂行を挙げている。

一方ロシア政府は、何度も「自分達は、ドンバス（ウクライナ南部・東部地域）紛争の当事者ではない」と主張している。

<http://bit.ly/1UUeI9P>

### **米国とトルコ 同盟関係が危機的状況に**

(スプートニク 2016年03月30日 17:27)

◦ AP Photo/ Susan Walsh <http://bit.ly/1k9zEcM>

米国とトルコの外交関係は、今も極めて重要な同盟国であるにもかかわらず、深い危機的状況にあるようだ。29日、BBCが伝えた。

最近、サイト「アトランティック (Atlantic)」は、オバマ大統領の多くのインタビューをもとに、オバマ政権の外交政策の広範な分析を行ったが、その中で「トルコ側は、オバマ大統領の多くの期待を裏切った」と指摘した。

当初オバマ大統領は、エルドアン大統領を、東西間に橋を架ける能力を持った「穏健なイスラム

主義のリーダー」とみなしていた。しかし現在、オバマ大統領は彼を、トルコの強大な軍事力をシリア国内の安定を保証するために使うことを望まない、破綻した権威主義的リーダーであると捉えている。

米国とトルコの間意見の違いは、様々な方面に及んでいるが、とりわけ、トルコの国内政策の現在の方向性に対する米国の失望感に、それが映し出されている。

<http://bit.ly/1ZKqPpw>

## **EU域外のテロには無関心な欧州の人々 ブリュッセルとラホールの悲劇への対応に差**

(スプートニク 2016年03月30日 17:25)

© AP Photo/ K. M. Chuadary <http://bit.ly/1pK8xb7>

モスクワ市民は、パキスタン東部のラホールで起きたテロ事件の犠牲者を悼んで、花やアイコン(聖像画)、ぬいぐるみなどを駐ロシア・パキスタン大使館前に供えている。この公園での自爆テロで、70人以上が亡くなった。しかし、多くの女性や子供が犠牲となったこの悲劇に、EUでは無関心な人々もいるようだ。

3月27日、ラホールの児童公園でテロリストが自爆、70人以上が亡くなり、340人以上が負傷した。被災者の大部分は、女性や子供達だった。攻撃は、カトリックのイースターのお祭りに合わせて行われたと見られている。イスラム過激派運動体「タリバン」が犯行声明を出した。悲劇の後、地元の人達は、被害者達を助けるため自分の血を提供しようと、献血所に長い列を作った。

[twitter.com/](http://twitter.com/) <http://bit.ly/1PFgQdE>

しかし西側のインターネット上では、パキスタンを支持する大衆行動や、ラホールでのテロ被害者に連帯するハッシュタグなどは見られない。Twitterのあるユーザーなどは「エッフェル塔を、パキスタンのシンボルカラーである緑と白でライトアップしようとする動きさえない」と書き込んでいる。

[twitter.com/](http://twitter.com/) <http://bit.ly/1TihcNX>

<http://bit.ly/1R0y04Y>

## **北朝鮮当局 飢餓に向けて準備するよう住民に呼びかける**

(スプートニク 2016年03月30日 19:12)

© REUTERS/ KCNA <http://bit.ly/1NicWqd>

北朝鮮の住民は、新たな「苦難の行軍」に向けて準備しなければならない。1990年代の北朝鮮に

おける4年間の飢餓が、「苦難の行軍」と呼ばれていた。「労働新聞」の社説の中で述べられている。記事中では次のように述べられている—

「革命への道は遠く、険しい。我々は、再び草の根を食べなければならない苦難の行軍を行わなければならないかもしれない。もし我々が自分の命を捧げることになったとしても、私たちは我々の人生の最後まで、我々の金正恩リーダーに忠実であり続けなければならない。」

「苦難の行軍」という用語は、1993年に北朝鮮指導部が考えたもので、北朝鮮で4年にわたって続いた飢餓をあらわすために使われた。複数の評価によると、この飢餓により24万人から35万人が死亡した。

<http://bit.ly/1R0zfwh>

### 通貨バスケットに対する人民元レート 16ヶ月ぶりに最安値

(スプートニク 2016年03月30日 18:49)

© Fotolia/ Sean K <http://bit.ly/20agLok>

中国人民銀行（中央銀行）によって監視されている通貨バスケットに対する人民元のレートが30日、16ヶ月ぶりに最安値をつけた。通信社ブルームバーグが伝えた。

人民元のこのような動きは、中国が、米ドルに対する毎日の参照レートが上昇しているにもかかわらず、自国の対外貿易にとって、より重要なバスケットに対する人民元切り下げを続けるとの不安に拍車をかけている。

中国外国為替取引システム（CFETS）の人民元指数CFETS RMBは、2014年末ぶりに98ポイントを下回った。これは中国の輸出企業の収益の増加を約束している。

<http://bit.ly/25w5MuV>

### クレムリン：米国での核安全サミット不参加の理由を説明

(スプートニク 2016年03月30日 19:30)

© Fotolia/ vesta48 <http://bit.ly/1oV96iC>

ロシア指導部は、ワシントンでの核安全サミットへの不参加を決めた理由について、この国際会合で持ち出される問題討議の際「協同行動が欠けている事」を挙げた。

水曜日、ドミトリー・ペスコフ大統領報道官は「なぜロシアは、このハイレベルの会合に代表を

送らないのか」との記者達の質問に答え、次のように説明した—

「ロシア政府は、核の安全に関係した問題を詳しく検討するためには、全体的な共同努力が必要であり、互いの立場や利益を考慮する事が求められる。我々は、この首脳会合のテーマや問題を事前に検討する過程で、協同行動が明らかに欠けている事を痛感した。それゆえ、今回、ロシアは代表を送らない。」

またペスコフ報道官は「核の安全問題は、極めてアクチュアルな問題である」とも強調している。

先にホワイトハウスのベン・ローズ報道官は、記者団と懇談する中で、ワシントンでの核安全サミットに出席しないとされたロシアの立場について、自らを孤立化させるものと呼んだ。

<http://bit.ly/2313GRF>

## 日本で安全保障関連法施行：中国との衝突はあり得るか？

(スプートニク 2016年03月30日 19:45 タチャナ・フロニ)

◎ AFP 2016/ Jung Yeon-Je <http://bit.ly/1UH9XNK>

日本で自衛隊の権限を拡大する法律が施行された。同法律によると、日本の自衛隊から、国連部隊のメンバーとして外国で作戦に参加する際の一連の活動制限が解除される。自衛隊は日本に対する直接の攻撃ではなくても戦闘に参加する権利を得た。防衛に関する新法の重要な面は、米国との同盟関係の強化だ。

安倍首相は国会で、日本と米国はいざというときに互いに助け合うことができるようになったと指摘した。モスクワ国際関係大学のドミトリー・ストレリツォフ教授は、これは日本政府の束縛を著しく解くとの考えを示し、次のように語っている—

「米国との協力は、れっきとした軍事同盟という、より高いレベルへ移る。これは事実上、NATOブロックをモデルとした二国間同盟に近い。今はじめて軍事同盟の常時稼働の機関がつけられつつある。このようなものは今までなかった。これは機動的に軍事計画を立てたり、機動的に協力する機関だ。今後、状況評価に基づき、日本の主権に対する脅威が存在しない場合には、日本の自衛隊が米国と一緒に軍事作戦に参加したり、同盟国を支援することが可能となるのも重要だ。これは、日本が自国の領土から離れた場所で自国の利益を守るためには十分だ。このように日本の行政組織は自衛隊を用いるための追加的権利を得る。」

新たな法律は、大半の国民の不満を呼び、専門家たちは法律施行後に、日本の軍国主義の犠牲となったアジア太平洋地域の国々に再び恐怖が生まれるのではないかと危惧した。実際に日本は新たな法律のもとで、自国の重要な同盟国である米国のためだけでなく、他の「友好国」を保護するためにも自衛隊を使用する権利を得る。なおこの「友好国」の範囲は定義されていない。このような

「保護」を得るという見通しは、例えば、日本軍について嫌な記憶が残っている韓国などの身震いと呼んでいる。日本とその同盟国の利益を守るためにどこで自衛隊が使用される可能性があるのか？ 日本専門家のアンドレイ・フェシュン氏は、次のような見方を示している—

「残念ながら、世界情勢は今、政治的にも経済的にも独立を望むあらゆる国が自国の軍を強化することを余儀なくさせている。これは中国からの脅威を感じている日本にも直接関係している。米国は日本に対して、完全なプログラムと呼ばれるもので日本を守る気はなく、日本は自国を防衛するという重荷を自ら背負うべきだと、さらに大っぴらに示唆するようになっている。これを受けて日本は自衛隊の法律に関して措置を講じた。すでに必要な場合には核兵器を製造する可能性についても語られている。なお日本の自衛隊は至る所で用いられる可能性がある。」

いま専門家たちを懸念させている重要な問題は、日本と中国の間で直接的な軍事衝突が起こる可能性はあるか？ ということだ。日本は最近、中国との係争地である尖閣諸島から約 150 キロ離れた与那国島に自衛隊の部隊を配備した。これが安全保障関連法案の施行とほぼ一致したのは、日本はそのような可能性を除外していないということをお話している。

<http://bit.ly/220b9H5>

### **クリミア 10年後オリンピック実施に名乗りを上げる**

(スプートニク 2016年03月30日 20:13)

◎ Sputnik/ Konstantin Chalabov <http://bit.ly/1OPGixf>

ロシア連邦クリミア共和国議会サナトリウム・保養施設及び観光担当委員会のアレクセイ・チェルニャク委員長は、「10年後クリミアは、夏のオリンピック実施に名乗りを上げるだろう」と述べた。チェルニャク委員長は、記者団に対し「10年も経てば、我々は、夏のオリンピック開催地に名乗りを上げる事ができるだろう。その事は、大統領を初めとした連邦権力当局が、クリミアに対し割いてくれている注意を考えれば、全く現実的だ。10年という歳月はまさに、希望とチャンスがあれば、しかるべきレベルにまで達する事ができる期間である。」と述べた

<http://bit.ly/1RyddII>

### **スペイン、放射性物質を収容したケースが盗まれる**

(スプートニク 2016年03月30日 21:00)

◎ Flickr/ Mad House Photography <http://bit.ly/1TbiKqF>

スペインの原子力安全機関が放射性物質を収容したケースが盗まれたと発表。国民に協力を仰いでいる。スペイン紙ラ・バングアルディアが伝えたところによると、盗まれた機器にはレベル4の

放射線源が収まっていた。放射性物質はカプセル内に密閉されているが、もしこれが開いてしまった場合には大惨事となりえる。ケース内には土壌の密度と湿度を測定する機器が収められていた。その機器の中に低レベル放射線の放射性物質、セシウム 137、及びアメリカシウム-241 とベリリウムの混合物が含まれている。ケースはスペイン・セビリアで駐車中の車から盗まれた。機器はスペイン・マラガの建築資材研究・建設管理センターの所有となっている。

<http://bit.ly/1ROA5Jn>

## **米国 ロシアのすぐ近く ノルウェー最北端に最新鋭レーダー基地**

(スポーツニク 2016年03月30日 22:20)

© Flickr/ Nicolas Raymond <http://bit.ly/1jjaR6c>

米国は、ノルウェー領内の対ロシア国境近くに、強力な新しいレーダー基地を置く考えだ。このレーダーサイトは、ノルウェー最北端のフィンマルク県ヴァードー市郊外に、2020年までに建設される。ノルウェーにおけるレーダー基地は、米国の対ミサイル防衛（MD）システムの一部で、ロシアの大陸間弾道ミサイルの打上げを追跡すると共に、ロシア海軍北海艦隊の活動を監視する能力を持つ。米国は、北極圏地域での軍事活動を強化しており、2017年には、2006年に閉鎖したアイスランドのケフラビーク海軍航空基地の二つの格納庫を再建するため、2140万ドルを費やそうとしている。基地は、通常の任務であるロシアの「潜水艦狩り」実施のために再び使用される計画だ。

<http://bit.ly/1ZM1zPC>

## **トルコ大統領のボディーガード 米国で抗議を止めさせようとする（動画）**

(スポーツニク 2016年03月30日 22:32)

© REUTERS/ Umit Bektas <http://bit.ly/1RLZ8GL>

核安全保障サミットに出席するため米ワシントンに到着したトルコのエルドアン大統領を、ホテルの入口で抗議者グループが出迎えた。通信社スポーツニク・トルコが伝えた。抗議者たちは、エルドアン大統領の政策に反対するスローガンを叫んだ。

大統領のボディーガードたちは、抗議者たちの声を掻き消すために、全員で叫び始めた。このような行動は、SNS利用者の大きな反応を呼び、皮肉なコメントが寄せられた。

[twitter.com/](http://twitter.com/) <http://bit.ly/1WYQ5gc>

<http://bit.ly/1MCz1pN>



## アサド大統領：シリアに将来ロシア以外の基地が残ってはならない

(スプートニク 2016年03月30日 23:10)

© Sputnik/ Press service of the President of Syria Bashar al-Assad <http://bit.ly/1RKIri0>

シリアのアサド大統領は、通信社スプートニクの独占インタビューで、テロとの戦いやシリアに設営されている外国の軍基地について語った。

スプートニク：シリア領内に外国の軍事基地があることをどのように思われていますか？ これらの基地は今後も残るのでしょうか？

アサド大統領：「もし私たちが、テロリズムとの戦いが行われている今の時期について述べるならば、もちろん我々はそのような基地の存在を必要とする。なぜならそれらの基地はテロリズムとの戦いで効果的だからだ。テロリズムはこの10年間で同地域に広がった。これに打ち勝つには長い時間が必要とされる。一方で基地はテロリズムとの戦いだけでなく、世界情勢全般とも関係している。そのため軍事基地は我々にとっても、みなさんにとっても世界の国際的バランスにとっても必要だ。」

スプートニク：基地についてですが、今話されているのは具体的にどの国のことですか？

アサド大統領：「私が話しているのはロシアについてだけだ。他の国々ではない。なぜならロシアと我々の関係は60年以上であり、信頼と明快さに基づいて構築されているからだ。そのためシリアにロシアの軍事基地があらわれたのは、占領ではなく、その反対に、友情と交流の強化であり、安定性と安全保障の強化だ。私たちはまさにそれを望んでいる。」

<http://bit.ly/1RLZCws>

## ベルギーのシャルルロワの駅でパニック 避難

(スプートニク 2016年03月31日 01:04)

© REUTERS/ Vincent Kessler <http://bit.ly/233g6bQ>

ベルギーのシャルルロワにある鉄道駅で不審物が見つかり、乗客らの避難が行われた。軍の工兵たちが、シャルルロワ南駅を検査している。また30日、シャルルロワで爆発のような大きな音がし、住民たちを不安にさせた。一方で現地の消防は、町でテロがあったという説を否定した。

消防によると、この音は「ソナカ」社のテスト機が町近郊で音速の壁を破ったためによるものだった。ベルギーは約1週間前に首都ブリュッセルで発生したテロのショックからまだ立ち直れずにいる。



3月22日、ブリュッセルのザベンテム空港で2回の爆発、地下鉄で自爆テロ犯による爆発が1回あり、35人が死亡、350人が負傷した。

<http://bit.ly/1PGDlyR>

### **なぜオバマ大統領はエルドアン大統領との会談を拒否したのか？**

(スプートニク 2016年03月31日 05:15)

© AFP 2016/ Pablo Martinez Monsivais <http://bit.ly/1PGDzpa>

両国間の矛盾が増大している中、トルコのエルドアン大統領の米国訪問が続いている。トルコ大統領の大きく揺れ動く政治的展望により、関係は冷え込んでしまった。エルドアン氏は再び、ホワイトハウスの支持を得る事ができるだろうか？ 両大統領間の意見の食い違いは、どのくらい深刻なのだろうか？ オバマ大統領が、エルドアン大統領との会談を拒否した事を、どうとらえるべきだろうか？

この問題に関して、スプートニク記者は、トルコ軍参謀本部国際安全保障局長を務めた経験を持ち、現在NATO予備役将校国際会議(CIOR)の副代表を務めるハルドゥン・ソルマズチュルク(Haldun Solmaztürk)氏に、意見を聞いた—

「エルドアン大統領は、トルコ国内で非常に手ごわい政敵達と衝突している。国内では、彼の政策に対する不満が増している。政敵達に対し、少しでもどうにか自分の立場を強めるために、彼は、あたかも西側、特に米国の支持を得ているかのような印象を作りだそうと試みている。事態の重大性は、彼がそうした事に成功しないだろうという事実にあるのではない。欧米は、トルコにおいて、民主主義の原則が体系的に破られ、汚職や収賄に対する戦いが不十分であり、マスコミ活動の自由が制限されている事をよく知っている。これは実際にそうである。それゆえエルドアン大統領は、国内情勢に対しての責任も、問われるようになるだろう。今回、西側から彼に、重大な圧力が加えられることは、避けられないと思う。」

<http://bit.ly/1Rrr72s>

### **調査：英国メディアの無知がイスラム恐怖症を高めた**

(スプートニク 2016年03月31日 08:54)

© REUTERS/ Eric Vidal <http://bit.ly/1UtOI5g>

英国のマスコミによるイスラム教徒に関する報道は、同国でイスラム教に対するネガティブな感情を高めている。ケンブリッジ大学が実施した調査の中で述べられている。

ケンブリッジ大学のホームページでは、次のように伝えられた—

「調査は、メディアおよび社会からのイスラム教徒グループの孤立を高め、イスラム教徒たちが英国の社会にポジティブな貢献をしているとは考えていない英国の世論の無知をさらに危険なものとしていることを示した。」

学者たちは、英国におけるイスラム恐怖症の高まりは、多文化環境の英国政府の政策が非効率的であることとも関係していると指摘している。

先に英国のメディア分野の国家機関は、タブロイド紙ザ・サンに対し、英国の5人に1人のイスラム教徒が宗教的過激主義を支持していると述べられている、11月に掲載された記事を取り消すよう求めた。

<http://bit.ly/1WYThSU>